		十八	20	十反	77/1777	長計画ン						
No.	110-040	事事業	務朝	読み・夕読み活	動推進事業					所属		
	Th 455			*キャミナナ づ / ハ						所属		171
政策		_		きあうまちづくり						課長		
体系	施策名 基本事業名	0 2		Fの健全育成 学びを支援する	T四キベノロ					所属 電話	, , ,	推進至
		0 1 会計	14×映 C		事業	事業名				电站	番号 45-5111	
		一般			10010 市	民運動推進	経費		法令 根拠	U		
事務	事業の概要(	具体的	内なや!	7方、手順、詳細	。期間限定複	数年度事業	ま全	体像	を記述)		事業期	間
				地域で行う朝読みる						*** - <b>=</b> 1 D.	□ 単年度のみ	
地域	子とも朝読み夕ま	読み美	践推進	会への支援(新町、	<b>向化、</b> / / / / / / / / / / / / / / / / / / /	门、上小川地	<u>区</u> へ(	の助き	■及び経!	貫の助成)		
											☑ 単年度繰返	0 50 年件 )
											□ 期間限定複数 □ 期間限定複数	S 50 年代~)
											■ 期間限足援数 <b>□</b> 年度	
1 <b>3</b>	見状把握の部(	DO)									<del></del>	十1文 )
	事務事業の目的		標									
	F段(主な活動							- 3	活動指標		活動量を表す指標)	W ()
	度実績(20年) 事業の概要と同		丁った主	にな活動)						名称		単位
争伤	争未の悩みに回り	逐						ア	朝読みタ	7読み参加団	体数	団体
							ı,					
21年	度計画 (21年)	金に言	計画して	いる主な活動)			$\Rightarrow$	1				
	度と同様	УСП					,	_				
								ウ				
文	寸象(誰、何を対	対象に	こしてい	るのか) *人や	自然資源等			3	対象指標	票(対象の大きる	で表す指標)	
地域	子ども朝読み夕ま	読み実	践推進	会			_		±□±± ¬. <i>F</i>	<u>名称</u>	I / <del>↓</del> ¥b	単位
							$\Rightarrow$	-	<b>扔読み</b> ろ	7読み推進団	114年 安文	団体
								1				
趸	意図(この事業	によっ	て、対	象をどう変えるの	<b>のか</b> )				成果指標	票(対象におけ	<mark>る意図の達成度を表</mark>	
子ど:	も達の活字離れる	を防ぎ	、読書活	5動を推進する。			, k		A 151 1	名称		単位
							$\Rightarrow$		参加した	団体の割合		%
								イウ				
幺	吉果(どんな結	果に終	詰び付!	けるのか)					上位成果	指標(結果の	達成度を表す指標)	
霧島	市の豊かな自然	環境0	り中で様	々な体験活動がで	<b>ごきる</b> 。					名称		単位
							$\Rightarrow$		本験活動フ	ログラムに参加	た児童生徒の満足度	%
							,	イウ				
(2) ½	総事業費·指標		単位	18年度	19年度	20年度		213	年度			
	の推			(実績)	(実績)	(実績)	_	(見	[込)			
	財 国庫支出 都道府県支	出全	千円									
員	<b>5</b> 1)泥		千円				+					
   投  巻	その作	<u> </u>	千円									
投入量	川文 共7		千円	50	50	50			100			
量—	事業費計	(A)	千円	50	50	50	J		100			
							1					
			<b></b>						10			
	活動指標	アイ	団体	5	5		5		10			
	/白宝儿1日代示	イウ					+					
		ーァ	団体	14	14	14	4		14			
	対象指標	1										
		ウフ	0/	05.74	05.74	05.7	$\perp$		74.4			
	成果指標	ア イ	%	35.71	35.71	35.7	1		71.4			
	ル木油流	1 ウ					+					
		ア	%			9:	3		90			
L	_位成果指標	1										
/2\ F	<b>「終事業の</b> 環!	ウ	v.A÷ 🖂	辛日学								
1 KI =	- vs -= == (/ )+=T											

子ども達の読書活動は、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造性を豊かなものにし、人生をより深く生き抜く力を身につけていく上で欠くことのできないものであるため、昭和50年代に国分の新町・向花・府中・野口・上小川地区で開始された。

事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 輪番制を組み、各公民館施設で公民館放送等を利用している。推進する地域が増加していない。

この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 家庭での子どもたちの読書離れが進んでおり、地区自治公民館での朝読み夕読み活動により活字離れが減少するとの意見が家庭から寄せられている。

	事務事業名	朝読み・夕読み	<b>,活動推進事業</b>	所属部	総務部	所属課	総務課
2			『価、ただし複数年度事業				
	政策体系との整 この事務事業の目的		■ 見直し余地がある 【理 スドキなな言書離れな除ぎ	•	▼ 結びついている		・ 推進するため、地域の子ども朝読
	策体系に結びつくかが結果に結びついて	↑?意図すること ているか?	み夕読み活動実践推進会を				
的妥		当性	□見直し余地がある 【理	画)之	☑ 妥当である 【理	即之	
評	らないのか?税金を する目的か?		地域で行われている朝読みタ 体験と学びを支援する環境づ				もたちの読書離れを防ぐこととなり、
恤	対象・意図の多	妥当性	■ 見直し余地がある 【理	曲)之	☑ 適切である 【理	申プ	
	対象を限定・追加す 限定・拡充すべきか						であるが、他の地区でも希望する団 防ぎ、読書活動を推進することとし
	成果の向上余	:地	▼ 向上余地がある 【理日		□ 向上余地がない	【理由】	<b>₽</b>
	成果を向上させる余 果の現状水準とある 異はないか?何が原 が期待できないのか	べき水準との差 気因で成果向上	現在5地区が取り組んでいる	事業である。	取り組む地区が増えるこ	ことにより、万	戈果が向上する。
有	廃止・休止の原	成果への影響	□影響無【理由】→		▼ 影響有 【その内	容] 🞝	
効性評			地域で朝読み夕読み活動を打	進進する団体	本が減少し、子どもたちの	)活字離れ	が進む恐れがある。
価	担以手来という	統廃合·連携	▼ 他に手段がある(具体				
	の可能性 目的を達成するには	は、この事務事業				きない 5	■連携できない ラ
	以外他に方法はない の統廃合ができるか 連携を図ることにより	いか?類似事業と ・?類似事業との	市立図書館が推進する読書活		•	·	
	期待できるか?	: A 11L	□他に手段がない【理由			/ T m - 1 1	
	事業費の削減		□削減余地がある【理日	⊞) <b>_2)</b>	▼ 削減余地がない	【埋田】	<del></del>
効率	の協力など)		 朝読み夕読み活動を推進する 	るために最低	低限必要な消耗品代の支	を援であり、	削減の余地はない。
性		業務時間)の削	□ 削減余地がある 【理日	#1 🕏	▶ 削減余地がない	【理由】	<b>₽</b>
-	やり方を工夫して延減できないか?成果 正職員以外の職員・いか?(アウトソーシ	具を下げずにより や委託でできな	市としての事務は、申請の処理 い。	里と委託経費	貴の支払である。 業務時	間はわずカ	かであり、これ以上の削減余地はな
公	受益機会·費用	用負担の適正	□見直し余地がある【理	曲】	☑ 公平・公正である	[理由]	<b>₽</b>
平	化余地		   受益機会については、現在は	5地区への	支援に留まっているが、	実施希望(	D団体があれば支援を行う態勢を
	事業の内容が一部の ていて不公平ではな 負担が公平・公正に	いか?受益者	とっているので、公平。 受益者負担については、市か は朝読み夕読み推進団体の!				代の支援としており、経費の大部分
3 (1)	評価結果の総括。 1次評価者として		(次年度計画と予算への) (2)		N) 【担当 辰り返り、 反省点)	課長記入	欄】
l` '	目的妥当性	☑ 適切	□ 見直し余地あり 🛶				
	有効性 効率性	=			閉を図るには、市立図書 推進団体の増加が不っ		する読書活動との連携を図ることが   
	公平性		□ 見直し余地あり	2.0.0, 0.72		377 207 0	
(3)			案)···複数選択可				改革・改善による期待成果
	<ul><li>□ 廃止</li><li>□ 休止</li><li>□ 目的再設定</li></ul>		)やり方改善(有効性改善) )やり方改善(効率性改善)	□ 現 <sup>3</sup> (従来)	大維持 通りで特に改革改善をし		隆止·休止の場合は記入不要)   へ、
_ ا	▼ 事業統廃合·連打	携 ■ 事業の	つやり方改善(公平性改善)				消滅  維持  増加
	改革改善案 > 市立図書館が推進す	る読書活動との選	直携を図るため、組織作りを図る	<b>5</b> .			
:	地域や学校との連携	を強化し、推進団	体の増加を図る。				成維果持
							低
(E)	みま みまた宝珠	まる トで紹汁	すべき課題(壁)とその解決	1筈			
(3)	以干、以告で天功	てッシエ ( 胖/犬	ァンC环処(主)とて切解が	·×			

					2 313 2 1						
No.	1240-010	事 事業	務 少年	年少女県外交流	事業(植木町	)			所属部	教育部	<del>-</del>
	Th /// 47		T						所属課	生涯学習	<b></b>
政策	政策名			きあうまちづくり	1				課長名	山下修	<u></u>
体系	他束石			の健全育成	T四1立づ/12				所属G(係)	生涯学習	G
-	基本事業名			学びを支援する 「項   目		<b>声</b>			電話番号	42-1111	
-	予算科目	会計 一般			事業 53025	事業名 青少年健全	育成	—— 法令 —— 根拠 <sup>社会</sup>	会教育法第20条 2	2条	
事務	事業の概要(	具体的	りなやり	方、手順、詳細	。期間限定複	数年度事業	は全	体像を記述)		事業期	間
熊本!	県植木町との交	流学習	3。隔年	で受入・派遣交流	を行っている。阝	作年度は,霧	島市で	受け入れた。今	年度は,当 🔲 単	年度のみ	
市内	での活動で,2%	日3日で	で小字4	~6年生20名を対	「家に体験活動」	やキャンフ等を	全行づっ	<b>予</b> 定。			
									☑ 単:	年度繰返	0 ~ 左帝 \
										□○( 間限定複数	S 61 年度~)
										年度	
1 現	状把握の部	(DO)							1 ->(	1 /2	1 12
(1)	事務事業の目	的と指	標								
	□段(主な活動		<u>.</u> .	ナムンイチト				活動指標	(事務事業の活動量を	を表す指標)	<u>単位</u>
	<mark>年度実績(20年</mark> 町訪問 企業員			土な活動) 学と献花,遺跡発	<b>押作業休</b> 騇				名称		平12
IE/I	-1 10/101 , 112 72 /1	, , , н	1/3/42/6					ア実施回数			回
213	年度計画(21年	丰度に	計画し	ている主な活動	)		$\Rightarrow$	1			
乗馬	体験,海水浴,	野外炊	(飯,星雪	≧観察 , キャンプフ	アイヤー等			ウ			
	<mark>†象(誰、何を</mark> 小学4~6年生	対象に	してい	るのか) * 人や	自然資源等			対象指標	(対象の大きさを表す指	<b></b>	単位
י גיא רו ו	小子4~0千土						$\Rightarrow$	ア 小学4~6	名称 5年生		<del>单</del> 位
							7	1	· · <del></del>		
								ウ			
				象をどう変えるの		少した I田 627 L		成果指標	(対象における意図の タヤ	達成度を表	
	(熊本宗恒不可 ぞれのよさを認言			めることで , それそ	[1607 [[1] [1] [1] [1]	致を珪解し,		ア参加者数	名称		単位  人
			•				$\Rightarrow$	1	•		
								ウ			
	<del>≒果(どんな結</del> 年の健全育成及							上位成果	<mark>指標 (結果の達成度を</mark> 名称	表す指標)	<mark>単位</mark>
ラン・	午00 医土自136.0	X O. IBA	リノエピュスこ	00文///				ア体験活動プロ	<del></del>	上徒の満足度	<u> </u>
							$\Rightarrow$	1			
(2)	v= w= 1813	E 66		<del> </del>		<del></del>		ウ			
(2) 窓	総事業費·指標 の推		単位	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (実績)		21年度 (見込)			
Н	日庫士		千円	(大限)	(大限)	(大限)		(元匹)			
₫	90 *00 * 00 * 00 * 00 * 00 * 00 * 00 *	支出金	千円								
事業	源 地方		千円								
投費	記 その作品		千円	454	230	29	06	411			
IΛI	事業費計	(A)	千円	454	230		56	411			
量—	7.XXII	(7.1)									
l H											
H		ア		1	1		1	1			
	活動指標	1	П	'	<u>'</u>			'			
		ウ									
	计争长描	ア	人	1,127	4,109	4,01	13	4,103			
	対象指標	<u>イ</u> ウ					+		+		
		ーァ	人	24	20	2	21	20			
	成果指標	イ									
		ウフ	0/	++m+=	00	,	20	00			
+	位成果指標	ア イ	%	未把握	90	,	90	90			
_	- '元い~ヘンコロ.1火	ゥ					+		+		
(3) 事	野野業の環:		L·住民	意見等			-				

昭和61年,旧隼人町と熊本県植木町との間で青少年を対象とした交流が開始。昭和63年に正式に「青少年交流の町盟約」を交わす。ホームステイや体験 活動等を通して交流をしている。

事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 19年度以降,対象者を隼人地区から霧島市全体の小学4~6年生に変更。

	事務事業名	少年少女県外	交流事業(植木町)	所属部	教育部	所属課	生涯学習課
2	評価の部(SEE) <sup>3</sup> 政策体系との割		『価、ただし複数年度事業は ■ ■ 見直し余地がある 【理		▼ 結びついている	【理由】 「	<u>त</u> ्र
	この事務事業の目的 策体系に結びつくかが結果に結びついる	い?意図すること		•			・ がっており,結果につながってい
的妥		当性	■見直し余地がある【理	由了	☑ 妥当である 【理	由】与	
評	らないのか?税金を する目的か?		他県の児童·生徒との交流とき	₹種体験活	動は,次代を担う青少年	ことって有	i意義なものである。
価	対象・意図の姿	妥当性	┃ 見直し余地がある 【理	申プ	☑ 適切である 【理	申】之	
	対象を限定・追加す 限定・拡充すべきか	?	熊本県植木町と協議の上,現				
	成果の向上余	地	□ 向上余地がある 【理日		☑ 向上余地がない	【理由】	<b>⊅</b>
	成果を向上させる余 果の現状水準とある 異はないか?何が原 が期待できないのか	べき水準との差 原因で成果向上	参加前と比較して、参加者の原	成長を確認	できる。		
有	廃止・休止の反	成果への影響	□影響無【理由】		▼ 影響有 【その内	容] 🦜	
効 性 評	事務事業を廃止・休 響の有無とその内容		対象者の他県での活動の場合ただし、植木町は熊本市との台		ており,合併後の本事業	の取り扱い	いは一部不透明である。
価	類似事業との紹 可能性	統廃合・連携の	□ 他に手段がある(具体	的な手段,	事務事業)		
	目的を達成するには 以外他に方法はない	ハか?類似事業	┌ 統廃合できる 🕤 ┌	連携でき	る 🕽 🔻 統廃合で	きない 🕤	✓ 連携できない 与
	との統廃合ができるの連携を図ることに		他に類似の事業がない。 				
	が期待できるか?	全地	□他に手段がない【理由 □削減余地がある【理由		▼ 削減余地がない	7冊山1	<u></u>
効	成果を下げずに事業 いか?(仕様や工法 の協力など)	業費を削減できな		•			•
率性	人件費(延べ業	業務時間)の削	☑ 削減余地がある 【理日	<u> </u>	□ 削減余地がない	【理由】	<u>₹</u>
	減余地 やり方を工夫して延 減できないか?成果 正職員以外の職員 いか?(アウトソーシ	具を下げずにより や委託でできな	これまで事前研修・事後研修を 内容を精査し,早めに集合され				者の理解を深めてきたが , その 削減することが可能。
公平	受益機会·費用 化余地	用負担の適正	■見直し余地がある 【理	!由]与	□公平・公正である	3 【理由】	Ð
性評	事業の内容が一部の ていて不公平ではな 負担が公平・公正に	いか?受益者	対象者全員に,案内チラシをまた,受益者からは保険料や行			考慮し、最大	大の希望者を受け入れている。
			(次年度計画と予算への反			果長記入村	, ) , )
(1,	1次評価者として。 目的妥当性		(2) 王 「見直し余地あり <u></u>	. 本総括(1	振り返り、反省点)		
	有効性 効率性 公平性				を継続しながら,事前研修 べ業務時間を削減し,タ		修の準備及び実施を省略する 上させる。
(3)	今後の事業の方	向性(改革改善	案)・・・複数選択可		1040-1+		改革・改善による期待成果
<	☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統廃合·連打 改革改善案 >	▼ 事業の	Dやり方改善(有効性改善) Dやり方改善(効率性改善) Dやり方改善(公平性改善)		状維持 通りで特に改革改善をし		選上・休止の場合は記入不要) コスト 削減 維持 増加 向 上 成 維 果 持
(E)	小节 功美太守理	オストで紹介	ナベキ理師 / 辟 ) レスの細され	<u>~</u>			T     T
本	市のみで成立する事	業ではなく,あく	すべき課題(壁)とその解決: まで青少年交流の盟約を締結し :調整を続けており、その動向に	た熊本県		ら必要があ <sup>る</sup>	5.

事務事業評価シート

		十八	20	牛皮	争纷争。	表評価と	<u> </u>				
No.	1240-020	事		本ボーイスカウト	鹿児島連盟が	1000年100日	计记录	<b>3道</b> 事業	所 属 音		
	1210 020	事業	名   口	+-3. 17(75 21	NO TO POLICE MEN	CAP-EIF	3 120.11	4 <del>4</del> 5×	所 属 誃	<b>生涯学習</b>	課
T 10 100	政策名	0 4	育み磨	<b>雪きあうまちづくり</b>					課長名	山下 修	
政策		0 2	青少年	の健全育成					所属G(係)	生涯学習	G
体系	基本事業名	0 1	体験と	学びを支援する	環境づくり				電話番号	42-1118	
	1	会計	款		事業	事業名		\+ \			
-	予算科目	一般	1 0			他社会教育	総務	法令 霧島市	補助金等の種	重類及び補助	率に関する要綱
				方、手順、詳細。						事業期	間
					することを目的。	とする日本ボー	-イス:	カウト連盟の姶良第二	二国に	単年度のみ	
	費補助として補				<b>1</b> <del>1</del> 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1						
				良第二団の主な活		(生の訓練の4	出に草	· ・金や、清掃などの奉	:仕注動 ☑	単年度繰返	
	2四性反、午回っている。	1 4 C 0 ) (	に封合	に必安なノノ「収音	ョ、ローフラーク	一寸の別線の	巴匹努	・並 ピ、月1市などの年		`	H 10 年度~)
- 13										期間限定複数	
									<u>L</u>	(年度	~ 年度)
	状把握の部		1=								
	務事業の目		襟					\T \L\K\I\\			
	「段(主な活動   東京		/ニュ たっ	<del>十 /&gt;:</del>				活動指標(事	<del>8事業の店動</del> 名称	量を表す指標)	単位
	<mark>丰度実績(20</mark> 事業の概要と「		1丁フ/こ	土は活動)					白仦		- 単位
<del>37</del> 177	サ来の似女に	<b>-</b> J O						ア年間の活動回	〕数		回
04/	て <u>座</u> もし三/04	左曲上	÷1 <del>=</del> 1 :	テリック ナーム・エチャ				1			
	<del>下及計画(21</del> 度と同様	干皮に	計画し	ている主な活動	)		,				
BJ ++/	支に凹物							ウ			
<del>.,</del> -	+会/計 /□≠	· >+ 45 1-	1711	フのか) ナーサウ	5.好次语位			计分比插 (社)	3.0.4.2.2.2.E.	++15.12	
				<mark>るのか) * 人や自</mark> 8第二団の団員	日然貝까守			対象指標(対象	Rの大きさを表 名称	9 指標)	単位
	かーイスカラド	8万亩2	単曲知る	まっぱい四貝 カウト鹿児島連盟媒	合良第一団		$\Rightarrow$	ア団員数	口仰		<del></del>
				ウト姶良第2団の運		#	7	イ			
								<del>ن</del>			
意	気図(この事業	能によっ	て、対	象をどう変えるの	(か)			成果指標(対象	象における意図	図の達成度を表	す指標)
				良第二団が健全に					名称		単位
	1 /×/74 A 1— <del></del>	B 1						ア自主財源率			%
·団員	が健全に育成	えされる					,	イ 健全に育成さ	れた団員数		人
			L - 1 1 1 1					ウ			
	ま果(どんな紹 の思わな句話)				7			上位成果指標		芟を表す指標)	<u>単位</u>
務局	の 豊かな 日 然 i	マ児の5	PC依々	な体験活動ができ	୍ଷ ବ			<b>ア</b> 体験活動プログラ	名称 / に参加したほう	金件はの法兄母	<u>事业</u> %
							$\Rightarrow$	イ		<b>重土比♡/响足及</b>	70
							,	<del>ن</del>			
(2) 約	浴事業費·指		単位	18年度	19年度	20年度		21年度			
		推移		(実績)	(実績)	(実績)		(見込)			
	財制		千円								
事業投費	都道府県		千円								
業	地方		千円								
投費	記 一般!		千円	0	15		5	15			
IλI	事業費計		千円	0	15		5	15			
量一	子未吳山	(71)	113	Ŭ	10			10			
		ア	回		1		1	1			
	活動指標	1									
		ウ ア	-		5		5	F			
	対象指標		人		5		5	5			
	入13代1日1示	<u>イ</u> ウ									
		ア	%		14		4	14			
	成果指標	7	人		5		5	5			
		<del>j</del>						-			
		ア	%		90	(	90	90			
上	位成果指標										
(C) =	576 de 111'	ウ	, ,; -	<u> </u>							
	務事業の環の事務事業				1つ頃じ/ か/	マ 4 キーズ 日日 4 / 2 ユ	- <del>h</del> +	<b>⊕</b> ₩ 2			
				かけは何か?し				<mark>のか?</mark> 人町で平成10年頃。			
口华	<b>ルーコスルソ</b> り	比兀甸湖		くか―凹りりの安置	ミによる。  用灯	1寸約144戸1計月	ᄞᅜᆍ	八四、八四、八四、八四、八四、八四、八四、八四、八四、八四、八四、八四、八四、八			
重	務事業を取	り巻イメー	犬沢.(☆付	象者や根拠法令	等)はどう変化	としているヵ	、開	始時期ある <b>いは</b> 55	年前と比べて	どう変わった	のか?
				当い事等をしている					= >3		

- 1枚目

この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 日本ボーイスカウト鹿児島連盟姶良第二団からの支援継続の要望がある。

	争猕争耒石	団育成指導事		川馬	部教育部	所属課	生涯学習課
2				業は途中部		17117 ITEL	
	政策体系との整 この事務事業の目的 策体系に結びつくか が結果に結びついて	]は市(町)の政 ・? 意図すること	■ 見直し余地がある 運営費を助成することで、 とに結び付く。			)でいる 【理由】 )豊かな自然環境の	の中で様々な体験活動ができる」こ
的妥	公共関与の妥		■見直し余地がある	【理由】与	▶ ☑ 妥当であ	5る【理由】 🦠	
評	なぜこの事業を市が らないのか?税金を する目的か?		  青少年育成団体を育成す 	「ることは行耳	汝の役割であり、補助	助金を支出すること	とは妥当である。
価	対象・意図の妥	当性	■見直し余地がある	【理由】 5		5る【理由】 🖜	
	対象を限定・追加す 限定・拡充すべきか		団員が健全に育成される	ために補助 <sup>-</sup>	するものであり、対象	東意図とも妥当であ	55.
	成果の向上余り	地	□ 向上余地がある	【理由】 5	▶ 🔽 向上余州	也がない 【理由】	₹
	成果を向上させる余 果の現状水準とある 異はないか?何が原 が期待できないのか	べき水準との差 逐因で成果向上	団員数の拡大が見込めす	「、活動として	ても現状維持が精一	-杯である。	
有	廃止・休止の成	果への影響	□影響無【理由】□	ð	▼ 影響有	【その内容】 🦜	
効性評価	事務事業を廃止・休 響の有無とその内容		団員数は横ばいであり拡	大が見込め	ない。自主財源率も	ん低く、補助がなくた	なれば活動費の捻出が困難になる。
価	類似事業との約 可能性	充廃合・連携の	□ 他に手段がある(:	具体的な手	段,事務事業)		
	目的を達成するには 以外他に方法はない		☆ 統廃合できる 🤼	□ 連携で	ごきる 🦜 🗌 紡	充廃合できない 🤊	■連携できない 🖜
	との統廃合ができるたの連携を図ることによが期待できるか?		類似する団体はない。				
-	事業費の削減	<b>Ф</b> ₩	✓他に手段がない【		<b>一</b> 训诫会社	也がない【理由】	
			■削減余地がある	[注田] 🀴	♥別級赤料	四かない (注田)	₩
効率	成果を下げずに事業 いか?(仕様や工法 の協力など)		団体の年間予算のほぼ5 はわずかに14%であり、こ				旦金を拠出しているが自主財源率 『を及ぼす。
性	人件費(延べ業 減余地	終時間)の削	□ 削減余地がある	【理由】 🦜	☑ 削減余均	也がない 【理由】	<b>₽</b>
	やり方を工夫して延ん 減できないか?成果 正職員以外の職員ないか?(アウトソーシ	▶委託でできな	職員は補助金の申請受付の余地は無い。	け及び交付、	実績報告に係る事	務が主であり、必要	要最低限の事務であることから削減
公平	受益機会·費用 化余地	負担の適正	■見直し余地がある	【理由】 🤝	☑ 公平・公	正である 【理由】	<b>₽</b>
性評	事業の内容が一部の ていて不公平ではな 負担が公平・公正に	いか?受益者	補助の対象がボーイスカッ て、広く市へ還元されてい		団という限られた受	益者ではあるが、湯	青掃や募金等の奉仕活動をとおし
3			:(次年度計画と予算へ(			【担当課長記入	(a)
(1)	1次評価者としての 目的妥当性			2) 全体総括	舌(振り返り、反省	点)	
	有効性					の登録料である現	状から考えると、補助金の効果が出
	効率性			こいるとはいえ	えない。		
(3)	公平性 今後の事業の方向	▼ 適切 5件(改革改善	□ 見直し余地あり   案)・・・複数選択可			[/ <u>/</u> /	) 改革·改善による期待成果
	「廃止	事業の	次) は数点が引 つやり方改善(有効性改善 つやり方改善(効率性改善 )やり方改善(公平性改善	(従	現状維持 (来通りで特に改革)	(厚	能止・休止の場合は記入不要) コスト 削減   維持   増加   一向   上
							成維果持低下
(5)	改革、改善を実現	する上で解決す	すべき課題(壁)とその角	<b></b>			

		3	平成	20	年度	事務事	業評価シー	-  -					
_	lo.	1240-030	事	務富	休み・冬休み自:	战体除即供事	. 森			所属		教育部	
L	ΙΟ.	1240-030	事業	名	水砂・受水砂白	然件級用住事	'未			所属		生涯学習	課
πh	· <u>~~</u>	政策名(			きあうまちづくり	)				課長	長 名	山下 修	
	策系	施策名(	) 2	青少年	の健全育成					所属(	i(係)	生涯学習	G
14	亦	基本事業名(	) 1	体験と	学びを支援する	環境づくり				電話	番号	42-1111	
			会計	款		事業	事業名		法令性点数		•		
	Ť	·算科目 -	一般	1 0	0 6 0 2 1	53025 青	少年健全育成	事		U			
車	級	事業の概要(目	1 /木 位	なかわり	<u>                                    </u>	<b>期期限完</b> 複	数年度事業日	·수 <i>f</i>	.545.	1		事業期	<b>門</b>
									<u> 本家を記述)</u> させることによって、	日堂生	単	<del>- 尹耒助</del> 年度のみ	<u>  EJ</u>
活	にま	Sいて不足しがち							齢間を超えた子供		_ +	T120707	
		易を提供する。									☑ 単	年度繰返	
		50名、2泊3日 10年度 頁~夏	<b>定自</b> ;‡	- タ~-	大分県九重町 -	亚式20年度 首	こっ あさつます	夕~	十八月九香町				H 18 年度~)
					~ 大分県九重町		を一角でしまり、	====	八刀朱九里町		□ 期	間限定複数	<b>対年度</b>
				311,1- / ~	7 (737)(7 022 - 3						<b>□</b> ⇒(	年度	~ 年度
1		状把握の部([		. 1									
(1)		務事業の目的		標					これまれた 十一八字	な事業の	バモロ	· =	
,		段(主な活動) <mark>  度実績(20年</mark>		/テった:	士か千動)				活動指標(事	務事業の 名称	活動重な	と表り指標)	単位
					エスロエル) 然体験を開催した。					口彻			
-	- /31-	THE LESS X	- /	H 32 H 30	(( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) (				ア参加者数				人
								,					
2	71日	E度計画(21年	度に	計画し	ている主な活動	1)		$\Rightarrow$	1				
		,20年度に同じ	,_,-	пп	CV - G G / H _ J	,		,	_				
									ウ				
	対	象(誰、何を対	象に	してい	るのか) * 人や	自然資源等			対象指標(対	象の大きる	を表す指	旨標)	
1.	小学	5年~高校生						,		名称			単位
								$\Rightarrow$	ア 小学5・6年生	三,中学生	E,高校	生数	人
								,	イ ウ				
	音	図(この事業):	- F ~	7 111	象をどう変えるの	D #\\)			成果指標(対	免におけ	ス音図α	を成度を表	オ指揮)
E					を学ばせ、異年的		3		/人/大门市(人)	名称	<del>る</del> に図い	注以反でな	<del>- 9 16 15 /</del> 単位
								$\Rightarrow$	ア 有意義と感じ		舌の数		
								7	1				
	1.1		<b>-</b> 1 /	±-%/					ウ	<b></b>			
霏		果(どんな結果 ) 豊かな白然環			<mark>fるのか)</mark> な体験活動ができ	÷ Z			上位成果指標	<mark>!(結果の</mark> 名称	達成度を	を表す指標)	単位
矛务	<b>両</b> ∪.	)豆かる日 / 塚り	児リノト	ア こかく	(4) (本海火/口里) / 1, C (	3 3		ı,	ア体験活動プログラ		た児童生	= 徒の満足度	<u> </u>
								$\Rightarrow$	1	710235	J,C,U <u>—</u> _		70
								,	ウ				
(2)	総	事業費·指標	等	単位	18年度	19年度	20年度		21年度				
	1	の推			(実績)	(実績)	(実績)		(見込)				
		財 国庫支出 都道府県支		千円									
	事			千円									
+л	業典	と その他	3	千円		710	765		1,357				
投 入	貿	一般財	源	千円	1,135	1,269	1,283		1,186				
量		事業費計(	(A)	千円	1,135	1,979	2,048		2,543				
-													
								+					
								+			-		
	!		ア	人	76	82	88		90				
		活動指標	1										
			ウ										
		<u></u>	ア	人	13,073	12,887	12,769		12,059				
		対象指標	1 ウ					-			-		
$\vdash$			ーファ	人	未把握	未把握	88	+	90		+		
		成果指標	1		/い101/生	/八]し]/生	30		30		+		
			÷					1					
			ア	%	未把握	90	90		90				
1	⊢	位成果指標	11				1	1				-	

この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?

市町村合併を契機に,青少年に自然に親しむ機会を与えるために開始した。

事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 以前に比べ、子どもたちが自然と親しむ機会が減ってきている

この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 保護者からは集団生活を経験したために生活態度が変わった等の声が寄せられている。

	事務事業名	夏休み・冬休み	ら自然体験開催事業	所属部	教育部	所属課	生涯学習課
2	評価の部(SEE) <sup>7</sup> 政策体系との		『価、ただし複数年度事業は ■ ■ 見直し余地がある 【理			ている【理由】	
	が結果に結びついて	ハ?意図すること		•			ばせ,異年齢間の交流を図らせる
的妥	公共関与の妥	当性	■見直し余地がある【理	曲) 🧈	☑ 妥当であ	る【理由】 🦜	
性評	なぜこの事業を市が らないのか?税金を する目的か?	「行わなければな 投入して、達成	都市化が進む霧島市では、普る場を提供することが子どもた				しており,教育の中で自然体験をす
旧価	対象・意図の姿	妥当性	■見直し余地がある【理	曲】之	☑ 適切であ	る【理由】与	
	対象を限定・追加す 限定・拡充すべきか		募集人員を拡大することにより		《の青少年の健全	全育成を図れる	
	成果の向上余	地	▼ 向上余地がある 【理日		□ 向上余地	がない【理由】	<b>₽</b>
	成果を向上させる余 果の現状水準とある 異はないか?何が原 が期待できないのか	べき水準との差 気因で成果向上	参加可能人員を増やすことで 験機会を作ることができない。	,さらに多く	の青少年の健全	≧育成が図れる。参	<b>診加人数が限られてしまい,広⟨体</b>
有	廃止・休止の反	<b>は果への影響</b>	□影響無【理由】		▶ 影響有	【その内容】 🕠	
対 性 評	事務事業を廃止・休 響の有無とその内容		自然豊な霧島市で育って良か	ったと思う	苦者が減少し, <b>絜</b>	<b>霧島市に対する愛</b> 続	着が薄れる
佃	類似事業との紹 可能性	統廃合・連携の	□ 他に手段がある(具体	的な手段,	事務事業)		
	目的を達成するには		□ 統廃合できる 🕤 🔲	連携できる	5 🕤	廃合できない 🕤	■連携できない 🕤
	以外他に方法はない との統廃合ができる				美があるが , 現地	集合であり, 交通	手段を持たない子ども達は保護者
	の連携を図ることに。 が期待できるか?	より、成果の向上	の協力がなければ参加できな				
-	事業費の削減	余地	<ul><li>✓他に手段がない【理由</li><li>削減余地がある【理由</li></ul>		☑ 削減余地	いがない【理由】	<u>₹</u>
対率			事業費は研修施設で必要な総の参加に影響が出る	・ 怪費であり,	削減した場合,。	より多くの受益者負	も担を求めることになり,子どもたち
性	人件費(延べ業	養務時間)の削	□ 削減余地がある 【理日	a) 🕏	☑ 削減余地	ながない 【理由】	<b>₽</b>
	<mark>減余地</mark> やり方を工夫して延 減できないか?成果 正職員以外の職員・ いか?(アウトソーシ	具を下げずにより や委託でできな	多くの子どもたちを安全に引擎	<b>≚するため</b> 0	D最小の人員で対	対応している。	
公	受益機会·費用 化余地	用負担の適正	■見直し余地がある 【理	(由)	☑ 公平・公	正である 【理由】	<del>_</del>
平	10/1/26	0 = 2 + 1 - 12	草集は主由小山党校を入して	<del>ヘ</del> ての <del>対</del> を	5旧辛 . 仕往によ	ニンを配在してい	7 また 平分老からは空泊化。会
計	事業の内容が一部の ていて不公平ではた 負担が公平・公正に	いか?受益者	事代等の参加費を徴収してお				る。また,受益者からは宿泊代・食
	評価結果の総括。 ) 1次評価者として		(次年度計画と予算への反		l) 辰り返り、 反省.	(担当課長記入村 占)	<b>M</b> )
(1	目的妥当性	□ 適切	見直し余地あり   <b> </b>	:   中心] 口 ( ].	成り込り、反目。	<del>////</del>	
	有効性		_		徒が参加できる。	よう,安全の確保に	<b>二</b> 留意しながらプログラムの改善を
	効率性 公平性	<ul><li>✓ 適切</li><li>✓ 適切</li></ul>	<ul><li>□ 見直 し 余地あり</li><li>□ 見直 し 余地あり</li></ul>	. 0 1 \ 0			
(3	) 今後の事業の方[	句性(改革改善	案)・・・複数選択可	_ TB.			改革・改善による期待成果
	□ 廃止 □ 休止 □ 目的再設定 □ 事業統廃合・連打 □ 日本 □ 日	□ 事業の	Dやり方改善(有効性改善) Dやり方改善(効率性改善) Dやり方改善(公平性改善)	☐ 現 <sup>1</sup> (従来)	犬維持 通りで特に改革さ		<ul><li>発止・休止の場合は記入不要)</li><li>コスト</li><li>削減 維持 増加</li><li>向</li></ul>
	多くの児童生徒が参加 公報 , 周知活動の徹底		の編成				上 成維 果 低 下
		まずる上で解決で	すべき課題(壁)とその解決	策			
1, 3	足全性の確保						
1							

P成 20 年度 **事務事業評価シー**ト

	_	半成		牛店	克	•	尹仍尹	美評価ン	<u> </u>				1						
No.	1240-040	事	務一	<del>Γ</del> ΡΤΑ	育成指	<b>導事業</b>							月				<u>対育部</u>		
		事業	百										戶				涯学習		
政策	政策名		_		ううまちつ								誃				」下 修		
体系		0 2			建全育成									f属 G			涯学習	iG	
ינגידוו	基本事業名	0 1	体験	と学て	がを支援	する環境	境づくり						電	[話	番 号	42	2-1118		
		会計	款	項		事		事業名			法令								
	予算科目	一般			6 0 1			の他社会教育			根拠		島市補助	助金領	等の種				関する要綱
	事業の概要 市内各小中高												の電学に	- <del>т</del>			事業期 隻のみ	间	
	スロッカッチョン 発費を補助する		riAu	ノ注給は	≛⅓℃「Ⅰ	八百里川。	加兴无依	で囚るため、粉	ירוי 📼 🤃	r I A,	连桁伽	找云	の建合は	と女	L -	半午/	支いか		
"	132 2 11323 7 3	•													Tal i	当年」	度繰返		
															-	<del>+</del> +/	文林)。	н	年度~)
																問問間	マー 限定複数		, ,
															<u> </u>		年度		年度
1 我	状把握の部	(DO)															- ' ~		1 /2
(1) 事	務事業の目	的と指	標																
手	段(主な活動	<b>ከ</b> )									活動技	旨標	[(事務事		活動量	量を表	す指標)		
	丰度実績(20										_		î	名称					単位
	市PTA連絡協語							<b>i導助言を行</b>		ア	補助急	<b>≑</b> ທ	額						千円
ソ。務	島市PTA活動	<b>岍九人</b>	云で豹	月安月	マス六惟	に用11年9	<b>ට</b> ,			Ĺ		/	40						
						<b>_</b>			$\Rightarrow$	1									
214	丰度計画(21	年度に	計画	してい	る主な流	古動)	- ili irr	52# DE	7	Ľ									
-	市PTA連絡協語	義会に 補	用助金	を父付	する。役	貝会等に	-出席し、打	1 得切言を行		ゥ									
つ。 <u>・</u>	LA (+1) - 1-	11 <i>2</i>		17 -	4	11 <del>/ -</del> -	いかいたかた					<del>اد</del> ارج				He '-			
P T A	象(誰、何を	対象に	して	,1るの	か) * 人	、や目然	資源等		ļ		对象技	<b>i</b> 標	(対象の		を表す	指標	)		出产
PIA	云貝									ア	PTA	ᄾᇀ		名称					<u>単位</u> 人
									<u> </u>	イ	r i A	<b>女</b> 5	₹ XX						
										÷									
意	気図(この事業	能によっ	て、対	付象を	どう変え	るのか	•)		Ī	Í		<b></b> 信標	(対象に	おける	る意図	の達	成度を表	す指	票)
	会等を開催し、												ŕ	名称					単位
										ア	研修会	等	への参	加者	数				人
									,	1									
1,-	t == / 15 / +>/-	- III I I I I	+ 7 1 /-	レルフィ	D 411					ウ			+15.4.		·+				
X.	詩果(どんな紀	米にか	さいた さいこう こうしゅう こうしゅう こうしゅう こうしゅう こうしゅう こうしゅう しゅうしゅう はい	11750	(ימט				<u> </u>		上加加	, 米:	指標(結	<del>:黒の:</del> 名称	達成度	を表	9指標)		単位
										ア	休驗活	かプ	エ ログラムに		た児童	5生徒(	の満足度		<u>辛业</u> %
児童	生徒の教育環境	竟の向」	上を図	る						1	PT-5X/LI:	=/) /	1,,,,,	- <i>&gt;</i> // C	710703	=  \( \cdot \)	07/E/C/X		70
									•	ゥ									
(2) 約	8事業費·指標		単位	7	18年度		19年度	20年度			1年度								
		住移			(実績)		(実績)	(実績)		(.	見込)								
	財工工		千円																
1 17	到源 · 即是的宗		千円									+			-			1	
業	티어트 코쥬		丰円									-							
投費	一般		千円		1,6	13	1,909	1,2	08		1,24	2			$\top$				
人 量 —	事業費計		千円		1,6		1,909	1,2			1,24	_							
里																			
ΙL																			
$\vdash$		7 -	IT	,	4.0	212	1 000	4.0	00		1.04	1							
	活動指標	アイ	千円	J	16	613	1,909	1,2	υδ		1,24	1			+			-	
1	/口玉//]日代示	1 ウ										┪			+			-	
		ア	人		13,7	<b>'</b> 58	14,305	14,4	14		14,00	0			+			t	
1	対象指標	7			.0,1		,000	1 .,,,			,00	Ť			$\top$			l	
L		ウ										_							
		ア	人		未把	握	未把握	未把	握		7,00	0							
1	成果指標	1																	
		ウ	0.4		- <u>-</u>	1+0	20								4			<u> </u>	
[	- 冶式田七冊	ア	%		未把	佐	90		90		ç	0			-			<b></b>	
1 -	位成果指標	イウ										-{			+			-	
(3) 重	務事業の環	音変り	上・住口	子号 目	1等			1										<u> </u>	
	の事務事業					<b>、?いつ</b>	頃どんな	経緯で開始る	された	<b>つ</b> か	ን ?								
	交PTA間の連																		
	務事業を取													前と比	べて	どうな	どわった	のか	?
合併	こより、旧1市61	#JのPT	A連絡	Y協議?	会が一本	化され、	平成18年月	まに霧島市PT	A 連絡	<b>占協</b> 記	義会とし	て発	足した。						
_	の車数車光	- <del>     </del>     -	<b>7</b> 月日 /:	5. 李 / /-	计尺 学	△ 古∛	医计包型	利宇思尼士	<b>李、</b> 4	117	ビムナ	÷ 🗀	を単位	が字	++ ^ +	h ブ!	1240		
_	の事務事業	ことりし	( 美川	71日(1:	工厂、研	云、尹茅	未刈水白、	们古肖派有	₹)/.	ا ۵.۲	こんなど	は兄	に安宝	IJ'时	G 0 1	0 ( 0	19/J, (		
特に無	<b>#</b> !,																		

	事務事業名	市PTA育成指	導事業	所属部	教育部	所属課	生涯学習課
2	評価の部(SEE) <sup>7</sup> 政策体系との割		平価、ただし複数年度事業は ■ 見直し余地がある 【理		✓ 結びついている	【理由】 「	<u>স</u>
	この事務事業の目的 策体系に結びつくかが結果に結びついて	りは市(町)の政 い?意図すること	育成活動を支援する体制が整	•	MAG 20. CO.S	1/2141	•
的妥	公共関与の妥	当性	■見直し余地がある【理	由】与	▼ 妥当である 【理	由】与	
当性評	なぜこの事業を市が らないのか?税金を する目的か?	「行わなければな :投入して、達成	児童生徒の学校、家庭との連打である。	隽を推進す	- ることを重点しているこ	とから、営和	9目的の団体ではないので、 妥当
価	対象・意図の変	妥当性	■見直し余地がある【理	由】る	☑ 適切である 【理	由)之	
	対象を限定・追加す 限定・拡充すべきか		PTA団体であることから対象は	限定する。			
	成果の向上余	地	▼ 向上余地がある 【理由	<u> </u>	□ 向上余地がない	【理由】「	<b>₽</b>
		べき水準との差 原因で成果向上		役員の選	考に毎年紛糾することか	「多い。PT/	Aの業務内容について、検討してい
有	廃止・休止の原	<b>艾果への影響</b>	□影響無【理由】   □		▼ 影響有 【その内	容] 🦜	
· 効性評価	事務事業を廃止・休響の有無とその内容	字は?	現在の小中学校の保護者を対	象としてい	ることから、廃止・休止に	はできない。	
"	類似事業との約  可能性	統廃合・連携の	□ 他に手段がある(具体)	的な手段,	事務事業)		
	目的を達成するには		□ 統廃合できる 🕤 🔲	連携できる	る 🥄 🔻 統廃合で	きない 🕤	□連携できない 🥄
	以外他に方法はない との統廃合ができる の連携を図ることに、 が期待できるか?	か?類似事業と	霧島市誕生以来、霧島市PTA		会の努力により、成果の	句上が見ら	na
-	事業費の削減	全地	□他に手段がない【理由 □削減余地がある【理由		□ 削減余地がない	【理由】	5
効率	成果を下げずに事業 いか?(仕様や工法 の協力など)	業費を削減できな		•			•
性	人件費(延べ業	養務時間)の削	□ 削減余地がある 【理由	1] 🕏	☑ 削減余地がない	【理由】	<b>₽</b>
	減余地 やり方を工夫して延 減できないか?成果 正職員以外の職員・ いか?(アウトソーシ	具を下げずにより や委託でできな	すでに、事務員を雇用して、事	務局の運	営にあたっている。		
公	受益機会·費用	月負担の適正	■見直し余地がある【理	甲】夕	☑ 公平・公正である	3 【理由】	<b>₽</b>
公平	化余地						
評	事業の内容が一部の ていて不公平ではた 負担が公平・公正に	いか?受益者	均一の会費を徴収し、事業を原	<b></b> 景開をしてし	.13		
	評価結果の総括。 1次評価者として		(次年度計画と予算への反		N) 担当 振り返り、反省点)	果長記入	<b>[</b> ]
(1)	目的妥当性		(2) 王 見直し余地あり	中心10 ( )	成り返り、及自忠)		
	有効性				であり、現状を維持する。 をして今後も継続してい		容等については、社会教育関係団
	効率性 公平性	<ul><li>✓ 適切</li><li>✓ 適切</li></ul>	<ul><li>□ 見直 l 余地あり</li><li>□ 見直 l 余地あり</li></ul>	加守则口		\ <sub>0</sub>	
٠,	今後の事業の方	向性(改革改善	案)・・・複数選択可		15.44.4		改革・改善による期待成果
	<ul><li>□ 廃止</li><li>□ 休止</li><li>□ 目的再設定</li></ul>		のやり方改善(有効性改善) のやり方改善(効率性改善)	<b>☑</b> 現》 (従来)	仄維持 通りで特に改革改善をし		隆止·休止の場合は記入不要) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
	丁 事業統廃合・連打     改革改善案 >	携 □ 事業の	のやり方改善(公平性改善)				10
今		の果たす役割はた	大きくなるが、補助金の増額は困	3難である。	今後も必要に応じて指	導助	上 成維 果 低 下
(5)	改革、改善を実現	する上で解決	すべき課題(壁)とその解決領	<del></del>			

Ν	0.		₽ ■業:	務 市	子ども会育成連続	絡協議会運営	支援事業				所原			1÷⊞
		政策名 0			うまつづくり						所 課 提		生涯学習 山下 修	ia未
政		施策名 0			<u>」。 この健全育成</u>						所属(		生涯学習	? G
体	系	基本事業名 0			- <u>の庭王自成</u> 学びを支援する	環境づ(1)						番号	<u> </u>	10
			計	款		事業	事業名		:+ 4	Τ	-E III	ш	12 11111	
	予		般	1 0			他社会教育	<b>育総</b> 教	法令 根拠	霧	島市補助金	等の種	類及び補助	]率に関する要綱
車	怒耳		休的	1 <i>t</i> r+511	<u>                                    </u>	期間限定複:	数任度重業	<u></u> 나소					事業期	間
子	ども	会活動の振興及	び指	導者の	<u>アス・アルス、円がる</u> 育成を図り、子ども	たち自らが楽し	<u> </u>	<u>16エ</u> を通し	て心身の	<u>建やた</u>	かな成長を促	当	<del>- デスカ</del> 単年度のみ	1161
す	ため	に、霧島市子ども	t会i	育成連絡	各協議会の運営に	要する経費を補	前する。							
												V H	单年度繰返	
													·····································	年度~)
												L 共 L>(	明間限定複数 年度	
1	現	状把握の部(D	O)									<u> </u>	十尺	. 一件皮)
	事	務事業の目的		標										
•		段(主な活動)	÷	/ <b>-</b>	1-4-1-T-T-1-1				活動	指標	票(事務事業の	活動量	を表す指標)	77 / <del>7</del>
		度実績(20年度			<del>王な沽動)</del> 補助金を交付する	、団体に対し指	道・助言を				名称			単位
行:		] C 0 公 月 / 从 庄	ᄴᄆᄱ	成ムに	[H]以业之义[1] 9 g	。国体に対りi	HA MIDE		ア補助	金の	)額			千円
								\						
2	1年	度計画(21年)	度に	計画し	ている主な活動	)		$\Rightarrow$	1					
2 0	年度	まに同じ しゅうしゅ							Ċ					
											_			
霏		<mark>象(誰、何を対</mark> 子ども会会員数		してい	るのか) * 人や目	自然資源等			対象	指標	<mark>!(対象の大きる</mark> 名称	きを表す	指標)	単位
				子ども会	育成連絡協議会				ア子ど	も会				団体
		対象活動 > 団体						7	1	-	271			
	<del></del>			- 14	5. + 1° > <del>+</del> > > =	· / · ·			ウ	TH: 13	E ( ) 1 (2) 1 1 1 1 1		- >+ -1>	
隹[	記	<u>凶(この事業に</u> 動を通して仲間。	よっ 作ロ	4、対象	<mark>象をどう変えるの</mark> 挑戦し社会生活を	<mark>)か</mark> ) :営むための其2	大的能度や		<b>炒</b> 朱	指榜	<mark>!!(対象におけ</mark> 名称	る怠凶	の達成度を表	₹ <mark>す指標)</mark> 単位
技行	折を	身につけるととも	に、	心身の個	建やかな成長をす	. 百もための本~ る。	-1 XIXICH		ア小学	生の	市子連加入	率		<u>+ 112</u> %
								7	イ 中学		市子連加入			%
	/ <sub>4</sub> +	<b></b>	I — //-	+ - 1° /_ <b>-</b>   _	17 O 41)				ウ		比抽从中	\ <del>+</del> -1\ -	****	
- 雲	結	果( <mark>どんな結果</mark> D豊かな自然環は	きの	<del>501917</del> 中で豊 <i>t</i>	<del>) るのか)</del> かな体験活動がで	きる。			上业	以未	<mark>指標(結果の</mark> 名称	達成度	を表り指標)	単位
			,,,,,,		0-11-0-1-12-1-1			_	ア体験	5動プ	ログラムに参加し	た児童・	生徒の満足度	%
								🔿	1					
(2)	松	事業費·指標等	Ξ		18年度	19年度	20年度		ウ 21年度	:		<u> </u>		
(-)	MACA	の推移	3	単位	(実績)	(実績)	(実績)		(見込)	•				
		財 国庫支出:		千円										
	事	那 都道府県支出 源 地方債	金	千円				-						-
+77	事業費	内その他		千円				-						
投 λ	筫	<b>州又宋江</b> ///		千円	644	580		51		196				
入量		事業費計 (A	<b>A</b> )	千円	644	580	55	51	4	196				
				11円	044	F00		F4		100				
	3	舌動指標	アイ	千円	644	580	55	וכ	•	196		-		
	_ ′	H 201H IW	ゥ											
			ア	団体	309	304	30	04	;	304				
	3	対象指標	イウ											1
			ア	%	90	88	(	91		90		+		
	J	<b></b> 成果指標	1	%	33	30		30		30				
			ウ	0/	±+m+₽1	00		20		00		$\perp$		
	<b>⊢</b> 4	位成果指標	アイ	%	実把握	90	(	90		90				
			ウ											
(3)	事	務事業の環境	变化	·住民	意見等	_	7 /h 22 / '							
	20	り事務事業を開	打始	したきっ	かけは何か?し	ハつ頃どんな約	全緯で開始さ	られた	このか?					

社会教育法の制定後,各社会教育関係団体の育成,指導・助言が強く求められるようになった。

事務事業を取り巻〈状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 合併により、旧1市6町の子ども会育成連絡協議会が一本化され、平成18年度に霧島市子ども会育成連絡協議会として発足した。

	事務事業名	市子ども会育原 業	成連絡協議会運営支援事 -	所属部	教育部	所属課	生涯学習課
2	評価の部(SEE) 政策体系との整		位、ただし複数年度事業は ■ 見直し余地がある 【理			ている【理由】「	<del>D</del>
	この事務事業の目的 策体系に結びつくた が結果に結びつい	りは市(町)の政 か?意図すること	霧島市子ども会育成連絡協議	会の活動を			•
的妥	公共関与の女		□見直し余地がある【理	由)与	☑ 妥当である	る 【理由】 🖜	
評	なぜこの事業を市からないのか?税金を する目的か?	が行わなければな そ投入して、達成	霧島市子ども会育成連絡協議 る。	<b>会の活動</b> を	を支援する事で ,	子どもの体験と学	びを支援する環境を作る事ができ
価	対象・意図の多	妥当性	□見直し余地がある【理	由)之	☑ 適切である	る 【理由】 🖜	
	対象を限定・追加す 限定・拡充すべきか		霧島市内子ども会を対象として	ている。			
	成果の向上余		□ 向上余地がある 【理日		☑ 向上余地:	がない【理由】「	<b>₽</b>
	成果を向上させる余 果の現状水準とある 異はないか?何が原 が期待できないのか	がき水準との差 原因で成果向上	子ども会主催で各種事業が実	流されてい	<b>ა</b>		
有	廃止・休止の原	成果への影響	□影響無 【理由】 🖜		☑ 影響有【	その内容】 🦜	
効性評	事務事業を廃止・休響の有無とその内容		子どもや保護者,地域住民同	士のつなが	じが薄くなり, 子と	ざもの育成環境に	影響がある。
価	類似事業との語	統廃合・連携の	□ 他に手段がある(具体	的な手段,	事務事業)		
	目的を達成するには		□ 統廃合できる 🕤 🔲	連携できる	5 🕤 🗆 統原	桑合できない <b>う</b>	■連携できない ラ
	以外他に方法はない との統廃合ができる の連携を図ることに が期待できるか?	か?類似事業と	子ども会育成事業であり,他に		<b>1</b> °		
$\vdash$	事業費の削減	余地	<ul><li>✓ 他に手段がない【理由</li><li>一 削減余地がある 【理由</li></ul>		☑ 削減余地	がない【理由】	<u> </u>
効率	成果を下げずに事動いか?(仕様や工法の協力など)	業費を削減できな		•			·
性	人件費(延べ美	業務時間)の削	☑ 削減余地がある 【理日	1 <b>3</b>	□ 削減余地	がない【理由】	<b>₽</b>
	減余地 やり方を工夫して延 減できないか?成身 正職員以外の職員 いか?(アウトソーシ	具を下げずにより や委託でできな	事務局が教育委員会内にあり 必要がある。	,担当職員	が大半の仕事を	行ってきたが,今	後も引き続き支援内容を精選する
公 平	受益機会·費戶 化余地	用負担の適正	■見直し余地がある【理	申プ	✓ 公平·公正	である 【理由】	<b>₽</b>
平性	事業の内容が一部の	の受送者に偏っ					
評	ままの内容が 品でていて不公平ではな 負担が公平・公正に	よいか? 受益者	霧島市子ども会育成連絡協議   	養会は,単位	ī子ども会育成会(	の集まりであり,†	5内全ての子ども会が対象である。
	評価結果の総括。 1次評価者として				り 辰り返り、反省点	担当課長記入 5)	(A) (A)
( )	目的妥当性	□ 適切	□ 見直し余地あり 🛶			,	
	有効性 効率性	<ul><li>□ 適切</li><li>□ 適切</li></ul>	<ul><li>□ 見直し余地あり</li><li>□ 見直し余地あり</li></ul>				
(0)	公平性	適切	見直し余地あり			174)	가보 가보는 Lowert
	□ 廃止 □ 休止 □ 日的再設定 □ 事業統廃合・連	□ 事業の □ 事業の	案)・・・複数選択可 Dやり方改善(有効性改善) Dやり方改善(効率性改善) Dやり方改善(公平性改善)		犬維持 通りで特に改革改	(	改革・改善による期待成果 <u>隆止・休止の場合は記入不要</u> ) コスト 川瀬 維持 増加
	改革改善案 >	3+7   ~An\h		<del></del>			向 上 成維 果 低 下
(5)	) (以甲、)以吾を実坊	兄9る上で解决で	すべき課題(壁)とその解決	<b>宋</b>			

ーニー ・	
No. 1240-060 事務 事業名 市連合青年団運営支援事業	所 属 部 教育部 所 属 課 生涯学習課
政策名 0 4 育み磨きあうまちづくり	所属課     生涯学習課       課長名     山下修
<b>以策</b>	
体系   旭泉石   0   2   子自俄云の元美   基本事業名   0   1   学習環境づくり	電話番号 42-1111
会計     款     項     目     事業     事業       予算科目     一般     1 0 0 6 0 1     152090     その他社会教	
青年団の活性化を図り,様々な研修活動や地域活動を通して,青年の自己啓発	やすこやかな郷土づくりを進めるた 単年度のみ
め,霧島市連合青年団の運営に要する経費を補助する。	
	┃  単年度繰返
	□ 期間限定複数年度
	■(年度~年度)
1 現状把握の部(DO) (1) 事務事業の目的と指標	
手段(主な活動)	活動指標(事務事業の活動量を表す指標)
20年度実績(20年度に行った主な活動)	名称 単位
霧島市連合青年団に補助金を交付し,活動に対して指導助言を行なう。	ア 補助金の額 円
21年度計画(21年度に計画している主な活動)	<b> </b>   1
平成19年度に同じ	j
対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	対象指標(対象の大きさを表す指標)
青年団員	人   名称   単位
	ア青年団員数人
	'   1
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)
研修活動や地域活動を通して,郷土を思う心と実践力を培う。	名称 単位 ア 地域活動に参加した団員数 人
	7
結果(どんな結果に結び付けるのか)	ウ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)
地域に合わせた活動を行なう環境が整う。	<u>エロル未指標(編集の達成度を表り指標)</u>   単位
	ア 体験活動プログラムに参加した児童生徒の満足度 %
	7 1
(2) 総事業費·指標等 単位 18年度 19年度 20年度 20年度 (中/表)	21年度
(美額) 【美額) 【美額] (美額] 【 】 【 】 国庫古出全 【 千四 】	(見込)
別が発展しません。その	
事 源 地方債 千円	
投費 訳 - その他   千万	670 603
	670 603
ア 円 1,037 705	670 603
活動指標 イ イ トラスティー トラスティー イー・ファイ イー・ファイ オー・ファイ オー・ファイ オー・ファイ オー・ファイ オー・ファイン オール ファイン オール ファイン オール ファイン アン・ファイン アン・ファー アン・	070 003
j j	
ア 人     60     75       対象指標     イ	55 55
р <mark>і</mark>	
ア 人 57 70	50 50
成果指標   イ	+ + + + + + + + + + + + + + + + + + + +
ア <mark>%</mark> 未把握 90	90 90
上位成果指標 ウ ウ	<del>                                     </del>
19   19   19   19   19   19   19   19	

社会教育法の制定後,各社会教育団体の育成・指導助言が強く求められるようになった

事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 合併により、旧1市6町の青年団が一本化され、平成18年4月1日に霧島市連合青年団として発足した

	事務事業名	市連合青年団		所属部		所属課	生涯学習課
2	評価の部(SEE) プロングラス 対策体系との整		価、ただし複数年度事業は ■ 見直し余地がある【理		▼ 結びついている	【理由】「	<del>D</del>
目	が結果に結びついて	、? 意図すること	霧島市に居住する青年が郷土	•			•
的妥	公共関与の妥	当性	□見直し余地がある【理	由】与	☑ 妥当である 【理	由プ	
	する目的か?		高齢化が進む現代において, ある。	青年が地元	<b>モを離れていく傾向にあ</b> っ	る中で , 地	域のリーダーを育てることが必要で
価	対象・意図の妥	8当性	■見直し余地がある 【理	申】之	☑ 適切である 【理	申プ	
	対象を限定・追加す限定・拡充すべきか	?	青年団の育成指導に限られて				
	成果の向上余		┃ <b>▽</b> 向上余地がある 【理由 ┃		□ 向上余地がない	【理由】「	<b>→</b>
	成果を向上させる余 果の現状水準とある 異はないか?何が原 が期待できないのか	べき水準との差 原因で成果向上	地域で社会活動を行なってい	る青年が活	5躍できるような場を提供	する。	
有	廃止・休止の原	以果への影響	□影響無 【理由】 5		▼ 影響有 【その内	容] 🞝	
効性評価	事務事業を廃止・休 響の有無とその内容		過疎化が進む霧島市において	,青年の均	也域活動の活性化が求め	りられてい	<b>ప</b> .
ПЩ	類似事業との約 可能性	統廃合·連携の	□ 他に手段がある(具体)	的な手段,	事務事業)		
	目的を達成するには		□ 統廃合できる 5 □	連携できる	る 🕤 📗 統廃合で	きない 🕤	✓ 連携できない 与
	以外他に方法はない との統廃合ができる。 の連携を図ることに。 が期待できるか?	か?類似事業と	青年団体に対する育成指導事		事業のみである		
-	事業費の削減	余地	<ul><li>✓ 他に手段がない【理由】</li><li>厂削減余地がある【理由】</li></ul>		▼ 削減余地がない	【理由】	<u>5</u>
効率	成果を下げずに事業 いか?(仕様や工法 の協力など)	<b></b> 養費を削減できな	青年団は急激な団員増加が見				·
性評	人件費(延べ業 減余地		■ 削減余地がある 【理由	1 🕏	☑ 削減余地がない	【理由】	<b>⊅</b>
	正職員以外の職員 <sup>1</sup> いか?(アウトソーシ	を下げずにより や委託でできな ングなど)	現在も最低限の人件費で運営	している。			
公 平	受益機会·費用 化余地	月負担の適正	■見直し余地がある【理	甲]之	☑ 公平・公正である	3【理由】	<b>₽</b>
性評	事業の内容が一部の ていて不公平ではな 負担が公平・公正に	いか?受益者	市内全域の青年を対象にして	いるため公	平公正である。		
			(次年度計画と予算への反			果長記入	(m)
(1)	) 1次評価者として( 目的妥当性 有効性 効率性 公平性	□ 適切	(2) 至	<u>14総括(f</u>	振り返り、反省点)		
	今後の事業の方    原止   休止   目的再設定   事業統廃合・連打   改革改善案 >	□ 事業の □ 事業の	案)・・・複数選択可 )やり方改善(有効性改善) )やり方改善(効率性改善) )やり方改善(公平性改善)		伏維持 通りで特に改革改善をし	(房	改革・改善による期待成果 選上・休止の場合は記入不要) コスト 削減 維持 増加 向 上
(E)	. 心苦 . 功恙を守理	ᠯᡮ᠌ᡘ <del>᠘</del> ᅏᠪᡏᡘᡈ᠇	すべき課題(壁)とその解決	<del>-</del>			成維果持低下
(5)	,以牛、以普で夫功	:ッる工(辟伏)	ァ・・C 环超(至)とて切解状態	ĸ			

平成 20 年度

事務事業評価シート

			1 /3/	20	T1X	71111 T	未り一両ノ						
N	0.	1240-070	事	務書	少年海外派遣事	类				F	所 属	部 教育部	
14	0.		事業	名   197	クキタが派遣す	**					折 属	課生涯学	
ᄺ	策		-		きあるまちづく!	)					课長	名 山下 修	
	系				の健全育成						所属G(1		쫄 G
PT.	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,				学びを支援する					ē	電話番	号 42-1118	3
	7		<u>会計</u> 一般	款 1 0		事業 53025 青	事業名 少年健全育原	∜事≟	法令				
	-								112326				
					方、手順、詳細							事業期	
					ながら、異文化とE 惑し、国際性豊かれ			する。	青少年を開	発逐上国に		] 単年度のみ	
· E	U, I	ヨ 午/安/い励/」は	3007日	当りで 件に	30、国际任豆儿。	4月少午で月川	90,					7 出生度编话	•
											I.	☑ 単年度繰返	。 (H 19 年度~)
											r	 □ 期間限定複	
1	現	状把握の部(	DO)										
		務事業の目的		標									
		段(主な活動)		,- <u>+</u> -					活動技			動量を表す指標	
7	(1) 4	<b>度実績(20年</b> 1合衆国 参加	· 技に * 14	行った。	王な沽動)						名称		単位
,	~ · ) ).	7日永岡 多加。	H 14	ים או	л I <del>П</del>				ア 参加者	Í			人
								, k	<u> </u>				
2	11年	度計画(21年	度に	計画し	ている主な活動	)		$\Rightarrow$	1				
		方式 参加 ·				)		,					
									ウ				
	対	象(誰、何を対	才象に	してい	るのか) * 人や[	自然資源等			対象技	≦標(対象♂	D大きさを	表す指標)	
市	内在	住の中高生の	参加申	申込者				k			名称		単位
								$\Rightarrow$	ア参加国	込者			
									1				
	音	図(この事業)	こよっ	て. 対約	象をどう変えるの	ואל				標(対象に	こおける	意図の達成度を	
					験することにより、「		少年を育成		7-707143	1131 (713 2311	名称		単位
する	る。							$\Rightarrow$	ア 参加者	z 1			%
								,	1				
	4±	果(どんな結り	田川生	±ァド <del>/、</del> ナノー	+20t)				ウト位は	田地描似	#田の海	成度を表す指標	)
					ン年の生きる力(技	術·知識·文化等	等)を得る。		<u> </u>		ロ来のほ 名称	<b>以反で衣り</b> 拍标	<del>)</del> 単位
							_,	$\rightarrow$	ア体験活			:児童生徒の満足度	
								$\Rightarrow$	1				
(2)	445	事类弗 化插	<u>~</u>		40年亩	19年度	20年度		ウ 21年度	1		1	
(2)		事業費·指標 の推	矽	単位	18年度 (実績)	(実績)	(実績)		21年度 (見込)				
		財産が通知を表現しています。	出金	千円	(天)(英)	(大)()	(大阪)		(76,42)				
	事	が 都道府県支	出金	113									
	業	内 地方值		千円									
投	業費	その代 ・一般財		千円		2,142	3,56	1	3,15	0			
스			//示 (A)	千円	0	2,142	3,56		3,15	0			
量		3-XXII	( , , )	113	,	_,	0,00		0,.0				
	Ш							_					
$\vdash$			ア	,		10	1	5		0			
		活動指標	イ	人		10	I	۱		<u> </u>		1	
		71231111	<del>ن</del>										
	ア 人 10				1	9	2	0					
1		対象指標	イ										
$\vdash$			ウア	%		100	10	0	10	0		-	+
		成果指標	1	70		100	10	-	10	·		1	
L	_		ウ										
			ア	%		90	9	0	9	0			
1	上	位成果指標	イ										
(3)	重	務事業の環境	ウ	/ . 住豆	音目笙								
					<sup>思兄寺</sup> かけは何か?Ⅰ	ハつ頃どんな約	<b>圣緯で開始さ</b>	れた	のか?				
					験することにより、[								
1													

事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 特になし

この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?

本旨の国際交流に寄与する。 青少年の生きる力(技術・知識・文化等)を得る事業として参加者はもとより参加希望の本人・保護者からの継続希望がある。

	事務事業名	青少年海外派	遣事業	所属部	教育部	所属課	生涯学習課
2	評価の部(SEE) <sup>7</sup> 政策体系との整		『価、ただし複数年度事業は ■ ■ 見直し余地がある 【理		▼ 結びついている	【理由】	<del></del>
	この事務事業の目的 策体系に結びつくかが結果に結びついて	、? 意図すること	ー 青少年が意言語下の家庭でst	· E活しながら 活動を体息	る、異文化と自文化を考 返し、国際性豊かな青少	え国際感覚	* 覚を育成する。 青少年を開発途上国 「ることに結びつく。 青少年が活きる
的妥	公共関与の妥		■見直し余地がある【理	曲)之	☑ 妥当である 【理	曲ラ	
当性評	なぜこの事業を市が らないのか?税金を する目的か?	行わなければな 投入して、達成	青少年が意言語下の家庭で生 要である。	೬活しながら	6、異文化と自文化を考	え国際感覚	意を育成する機会をつくることは、必
価	対象・意図の多	妥当性	■見直し余地がある【理	曲】	☑ 適切である 【理	曲ラ	
	対象を限定・追加す 限定・拡充すべきか		この対象変更の可能性はあり				
	成果の向上余	地	▼ 向上余地がある 【理日	<b>∌</b>	□ 向上余地がない	【理由】	<b>₽</b>
	成果を向上させる余 果の現状水準とある 異はないか?何が原 が期待できないのか	べき水準との差 原因で成果向上	参加者の負担額の削減をする 米国においては、一人(参加部 い青少年やその保護者が積極	旨)あたりの	負担額が 総計費50万		1の25万円であることから、参加した
有	廃止・休止の反	<b>以果への影響</b>	□影響無【理由】		☑ 影響有 【その内	容] 🦜	
効性評	事務事業を廃止·休響の有無とその内容		青少年の国際感覚を育成する	機会が低 <sup>-</sup>	下する。		
価	類似事業との紹 可能性	統廃合·連携の	□ 他に手段がある(具体	的な手段,	事務事業)		
	目的を達成するには		→ <b>▽</b> 統廃合できる <b>¬</b>	連携できる	る 🦜 🔲 統廃合で	きない 🕤	■連携できない 🕤
	以外他に方法はない との統廃合ができる。		  霧島市内にある各国際交流協	る会と連携す	けることができる。		
	の連携を図ることに。 が期待できるか?	より、成果の向上	□他に手段がない【理由				
	事業費の削減	余地	▼削減余地がある「理由		□ 削減余地がない	【理由】	<b>→</b>
効率	成果を下げずに事美いか?(仕様や工法の協力など)		上記 に記述したことにより、・	各国際交流	で協会の自主事業と位置	付けること	により削減は可能である。
性	人件費(延べ) 減余地	美務時間)の削	☑ 削減余地がある 【理日	1 🧈	□ 削減余地がない	【理由】	<b>₽</b>
	が成本地 やり方を工夫して延減できないか?成果 正職員以外の職員がいか?(アウトソーシ	見を下げずにより や委託でできな	上記 のとおり				
公	受益機会·費用 化余地	月負担の適正	▼ 見直し余地がある 【理	曲]力	□ 公平・公正である	3 【理由】	<b>₽</b>
平性	事業の内容が一部の	7.平分本に位 -	参加者は、市内全域を対象と	していること	から、小平である		
計	ていて不公平ではな	いか?受益者	上記 により公平・公正が図		.n.o. A+ cws.		
	負担が公平・公正に			Edit / CL A N	1 THE 3/4	9 E 47 \ .	
	計画結果の総合の		(次年度計画と予算への反 (2) <u>(</u> 2) 全		り (担当) 振り返り、反省点)	果長記入	90 J
	目的妥当性 有効性		□ 見直し余地あり ➡ 青少年	₣が国際感	覚を身に付けることは、	国際性豊力	かな青少年を育成することに非常に
	効率性			である。 公平性を図	図るための検討が必要。		
(2)	公平性		▼ 見直し余地あり (************************************			(4)	改革・改善による期待成果
(3)	□ 廃止 □休止	■ 事業の	のやり方改善(有効性改善)		<b></b> 伏維持	( 房	廃止 <u>(休止の場合は記入不要</u> )
	<ul><li>☐ 目的再設定</li><li>☑ 事業統廃合·連封</li></ul>		Dやり方改善(効率性改善) Dやり方改善(公平性改善)	(従来)	通りで特に改革改善をし	かない)	「・・・・ <u>コスト</u>   ・・・・ 削減 維持 増加
		に付けることは、	国際性豊かな青少年の育成に	必要である	ことから 継結に契める		向 上
			当然に登かる音グーの音流にような、また、希望する事業に参				成維
							果持低
L							F     /   /
٠,			すべき課題(壁)とその解決 B議しながら、各関係国際交流!				
				· <u>X</u> ±	<del> </del>		

					3.373 3.7	7 H I I I I I I					
No.	1240-090	事事業	務青	少年地域体験活	動開催事業				所属部		<b>-</b> m
	Th 45 47			ミキャミキナベノロ					所属課		<b></b>
政策	政策名 施策名			きあうまちづくり ■の健全育成					課 長 名 所属G(係)	山下 修 生涯学習	ガルーゴ
体系				-の健主自成 学びを支援する	理培づ/11				電話番号		77V-7
	<b>举</b> 中	会計	神殿と		事業	事業名		IN A	电前笛与	42-1111	
子	<b>等科目</b>					少年健全育	成事	法令根拠			
				方、手順、詳細。						事業期	間
						特色ある自然	然環境	では統文化を体験	しても 🔲 🖺	単年度のみ	
	■美。合地区。 亟時期 毎年!			<b>鈴活動毎に募集を</b>	行つている。					4/一座/21/2	
・参	加費 活動に	こ応じ	で実費負							単年度繰返 □	H 19 年度~)
保護	<b>養者が送迎で</b> を	きない	子どもも	多加できるよう	にするため、ī	市内全地区に	送迎	バスを運行している	ఠ.	明間限定複数	
									(`		
	状把握の部								-		
	務事業の目		標				İ	: <u>-</u>	フカ 吉 坐 あ ご チ 目	1 <del>+ + + + + + + + + + + + + + + + + + +</del>	
	段(主な活動 <mark>- 度実績(20</mark> 5	,	行った:	士か:壬動)				活動指標(事	<mark>務事業の活動量</mark> 名称	を表り指標)	単位
				工業大学での実	!験 , 横川 ~ 山ヶ	野金山めぐ		- 44 LD + 44 ( 77			<u> </u>
				・やまコンセールで	ごのコンサート, 🤄	霧島連山登		ア 参加者数(延	へ入釵)		人
山, 仙	山~ 届山酢器	适所员	2字,年。	人~初午祭参加			$\vdash$	イ 参加者数(実	? 人 迷切 )		人
				ている主な活動			7		:/\ <b>\</b>		
霧島坦	2山登山,絵穴	「け1本駒	₹, 伊楽1	本験 , みかん狩り	<b>5</b>			ウ			
ਹੈਰ	免/誰 何た:	计争口	ーナル	るのか) * 人や[	白状咨询空			対免指揮(対	象の大きさを表す	·+ヒ+亜 /	
	<del>36(証、円で、</del> )小学3年生~			20010.) X 12 E	1 然 貝 脉 守			X 3 多 3 日 1 示( X 3	<del>家の人ささを表す</del> 名称	1日1示)	単位
								ア 小学3~6年	生,中学生		人
							,	1			
音	図にの重業	にょっ	フ 対:	象をどう変えるの	741)			ウ 成里指標(対	象における意図	の達成度を表	おお棒)
	世域体験活動				) <b>(3</b> ·)			/ (人) (人)	名称	の圧成反で収	<del>单面振</del> 単位
								ア 有意義と感じ	た参加者の割	合	%
							,	イ ウ			
结	果(どんな結	里に約	±7 %⟨┤  -	tるのか)					票(結果の達成度	を表す指揮)	
				な体験活動ができ	<b>きる</b>				名称		単位
								ア体験活動プログラ	ラムに参加した児童	生徒の満足度	%
							7	イ ウ			
(2) 総	事業費·指標	等	単位	18年度	19年度	20年度		21年度			
	<u>の</u> か			(実績)	(実績)	(実績)		(見込)			
	財工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工		千円				-				
事業	源 地方		千円	-			$\dashv$				
業 投費	_ ( ) /	他	千円								
入	一万又只		千円	0	172		39	845			
量—	事業費計	(A)	千円	0	172	3.	39	845			
							$\dashv$	+			
$  \; \bigsqcup$						•					
$\vdash$		1			047	AI	1	500			
	活動指標	<u>ア</u> イ	人		247 237	45 35	54	590 472			
		ウ									
		ア	人		9,480	9,50	00	9,471			
	対象指標	イ ウ					+				
		ア	%	<del>                                     </del>	未把握	43	33	560			
	成果指標	イ			. ,0,,1		.7	6			
		ウ	0,		00		.	20			
<sub> </sub>	位成果指標	ア イ	%		90	(	90	90			
	四水木田伝	1 ウ					-				
(3)事	務事業の環	境変化	Z·住民	意見等							
ے (	の事務事業を	開始	したきっ	かけは何か?し	ハつ頃どんな終	圣緯で開始さ	れた	:のか?			

|平成17年の合併を期に、各地区の特色ある自然環境や伝統文化を体験してもらい郷土愛を高めようと開始された。

事務事業を取り巻〈状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 特に変化なし

この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 参加した児童生徒からは、霧島市の自然や文化の素晴らしさを再認識したとの声が寄せられている。

	事務事業名		験活動開催事業	所属部		所属課	生涯学習課
2	評価の部(SEE) *  政策体系との整		望価、ただし複数年度事業は ■■ 見直し余地がある 【理		☑ 結びついている	【理由】	<u>5</u>
	この事務事業の目的 策体系に結びつくか が結果に結びついる	りは市(町)の政 い?意図すること		•			で様々な体験活動ができることにつ
的妥	公共関与の妥	当性	■見直し余地がある【理	曲】	▼ 妥当である 【理	曲	
当性評	なぜこの事業を市が らないのか?税金を する目的か?		青少年育成事業を行うことは行	<b>丁政の役割</b>	であり妥当である。		
価	対象・意図の多	妥当性	■見直し余地がある 【理	由】ラ	☑ 適切である 【理	曲】	
	対象を限定・追加す 限定・拡充すべきか		原則として児童生徒のみの参	加としてい	ることから小学校3年生り	人上を対象	とした。
	成果の向上余	地	▼ 向上余地がある 【理由	<u> </u>	□ 向上余地がない	【理由】	₹
	成果を向上させる余 果の現状水準とある 異はないか?何が原 が期待できないのか	べき水準との差 気因で成果向上	毎年度,各地区での事業につめる。	いて内容を	を精査し魅力的な事業を	展開する	ことにより,より多くの参加者が見込
有	廃止・休止の原	<b>以果への影響</b>	□影響無【理由】		▼ 影響有 【その内	容] 🦜	
効性評	事務事業を廃止・休響の有無とその内容		行政で行う旧市町の自然や伝	統文化を作	本験できる機会が失われ	<b>、</b> る。	
価	想以事未しい。	統廃合・連携の	□ 他に手段がある(具体	的な手段,	事務事業)		
	可能性 目的を達成するには 以外他に方法はない	1か?類似事業	□ 統廃合できる <b>つ</b> □	連携でき	る 🕤 🗌 統廃合で	きない 5	□連携できない
	との統廃合ができる。 の連携を図ることに。 が期待できるか?		霧島市内全地区で定期的に位 ▼他に手段がない【理由		事業は他には無い		
	事業費の削減	余地	□削減余地がある【理由		▼ 削減余地がない	【理由】	₹
効率	成果を下げずに事勢 いか?(仕様や工法 の協力など)		講師謝金や消耗品、参加者の	送迎に必	要なバス代等必要最低限	限な経費で	であり削減できない。
性評	減余地	養務時間)の削	□ 削減余地がある 【理由	•	☑ 削減余地がない		•
11111	やり方を工夫して延減できないか?成果 正職員以外の職員・いか?(アウトソーシ	や委託でできな	職員は事前の準備や当日の追しており、削減の余地はない。	[営、引率	を行っており、参加者の9	安全を期す	rために最低限必要な人員で対応
公 平	受益機会·費用 化余地	月負担の適正	■見直し余地がある 【理	由」「ラ	▼ 公平・公正である	3 【理由】	<b>₽</b>
性評	事業の内容が一部の ていて不公平ではな 負担が公平・公正に	いか?受益者	参加者には事業に応じて受益 また,市内全地区を周る送迎/			い子どもも	参加できるように配慮している。
	評価結果の総括と					果長記入	
	1 次評価者として( 目的妥当性 有効性 効率性 公平性	<ul><li>☑ 適切</li><li>☑ 適切</li><li>☑ 適切</li><li>☑ 適切</li></ul>	<ul><li>□ 見直し余地あり</li><li>□ 見直し余地あり</li><li>□ 見直し余地あり</li><li>□ 見直し余地あり</li></ul>		振り返り、反省点) 展開することにより,より:		
*地	<ul><li></li></ul>	▼ 事業の □ 事業の ■ 事業の を持って、積極的	案)・・・複数選択可りやり方改善(有効性改善)りやり方改善(効率性改善)りやり方改善(効率性改善)りやり方改善(公平性改善)に参加できる場所やイベントを対してきないできる場所をイベントを対している。	精選する。	状維持 通りで特に改革改善をし	( <b>)</b>	) 改革・改善による期待成果 (発止・休止の場合は記入不要) コスト   別減 維持 増加   向上   成維   規持   低下
` . '			タハと味題(至うこその解決) 皆の志向や地域の特性をリサー				

		平成	20	年度			事務	事業語	評価シ											
No.	1240 100	事	務畫	小ケイ	- <del></del>	±∓ ¬ > / :	L E	明准审书	<u> </u>					所	属	部	教育	部		
INO.	1240-100	事業	名   同:	ン牛刀	一一	話コノ	ナスト	開催事業	ŧ					所	属	課	生涯	学習記	果	
T- 22	政策名	0 4	育み磨	≸きあう	まちこ	づくり								課	長	名	工	修		
政策 体系	施策名	0 2	青少年	₽の健:	全育瓦	ţ								所.	属G(	係)	生涯	学習(	3	
PT-///	基本事業名	0 1	体験と	学びを	主支援	する環		IJ						電	話習	手号	42-1	1118		
1		会計	款	項	且	事		<del>-</del> 5	事業名			弥	4+1-4							
Ť	算科目	一般	1 0	0 6	0 2	153	015	青少年	F健全育		札	拠	特にな	U						
事務	事業の概要(	具体的	りなやり	)方、手	-順、記	羊細。其	期間限	定複数年	F度事業	は全体							事	業期間	間	
	ア等の発達に								こしまった	。方言を	を知るこ	اعا	は、古くか	らの暮	事ら	Ě	単年度(	かみ		
しを伝	承し、未来に	繋いでし	ハくことで	ごあり, st	生活の	中で必	要であ	る。												
																V E	単年度約			
																		•		年度~)
																	明間限定			
4 70		(5.0)														<u>₽</u> (		年度 -	-	年度
	状把握の部		1.446																	
	務事業の目		/							٦	3.4	_ <del>_</del> ∓++	七抽	70 mm 3	# <b>~</b> ::	C # 1 =	· + + + ·	+K+#*		
	段(主な活動 <mark>- 度実績(20</mark> 3		行った	士 #>:3	二番力)						72	里儿士	指標(事		<del>集のに</del> 称	割重	· 企衣 9 :	1日作。)	È	単位
						ス煙語 つ	コンテフ	トを宝施っ	する						ባጥ					<u>⊢ 117</u>
·7 ·- <del>1-</del>	学4年生~中学3年生を対象としたに方言による標語コンテストを実施する アーロン・フロン・フロン・フロン・フロン・フロン・フロン・フロン・フロン・フロン・フ																			

## 21年度計画(21年度に計画している主な活動) 19年度と同じ ゥ <mark>対象指標(対象の大きさを表す指標)</mark> 名称 小学4年生~中学3年生 対象(誰、何を対象にしているのか) \*人や自然資源等 小学4年生~中学3年生 単位 ウ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 方言を使い標語をつくることにより、親、祖父母、近隣の高齢者から知恵や昔の生 <mark>成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)</mark> 名称 単位 活や環境を知ることができる。また、家族等の連帯も深まる。 ア申込者とその保護者等 ウ 結果(どんな結果に結び付けるのか) 上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 単位 青少年が学校・地域・家庭に興味や関心を持ち、社会を見つめる機会となる ア 体験活動プログラムに参加した児童生徒の満足度 (2) 総事業費·指標等 18年度 19年度 20年度 21年度 単位 の推移 (実績) (実績) (実績) (見込) 千円 国庫支出金 都道府県支出金 千円 事 源 地方債 千円 業 千円 その他 投費 訳 一般財源 千円 278 191 248 事業費計 (A) 千円 191 248 0 量 1,265 600 1,000 活動指標 ァ 8,178 8,094 8,078 対象指標 1 ゥ 未把握 1,740 2,900 成果指標 1 ア 90 90 90 % 上位成果指標 ゥ

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?

市長マニフェストによる。平成19年度開始

事務事業を取り巻〈状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 特になし

<u>この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?</u> 学校での取組みも積極的なことから継続の要望がある。

			語コンテスト開催事業	所属部	教育部	所属課	生涯学習課
2	評価の部(SEE) <sup>7</sup> 政策体系との		望価、ただし複数年度事業は ■ 見直し余地がある 【理	:途中評価 !由〕 <b>¬</b> ♪	▶ 結びついてに	いる【理由】「	<del></del>
目	が結果に結びついて	? 意図すること	鹿児島弁を理解し、まちづくり	(コミュニテ	ィ)に参加してもらう		
的妥	公共関与の妥	当性	■見直し余地がある 【理	曲)之	☑ 妥当である	【理由】 🕏	
	する目的か?		地域の文化としての鹿児島弁	を絶やさな	いよう、日頃の生活	でも活用するた	めのきっかけとする。
価	対象・意図の姿	<del>E</del> 当性	▼ 見直し余地がある 【理	曲)之	□ 適切である	【理由】 🕏	
	対象を限定・追加す 限定・拡充すべきか		コンテスト形式では、鹿児島弁	を使うことの	D少ない若年層には	困難である。	
	成果の向上余	地	▼ 向上余地がある 【理日		□ 向上余地が	ない 【理由】	<b>₽</b>
	成果を向上させる余 果の現状水準とある 異はないか?何が原 が期待できないのか	べき水準との差 因で成果向上	作品応募でなく、鹿児島弁講	座的なもの	を実施できないか。		
有	廃止・休止の原	<b>は果への影響</b>	□影響無 【理由】 🖜		☑ 影響有【そ	の内容】 🖜	
効性評	事務事業を廃止・休 響の有無とその内容		日頃活用の機会が少なくなり、	鹿児島弁	が理解できなくなる。		
価	類似事業との紹可能性	統廃合·連携の	□ 他に手段がある(具体	的な手段,	事務事業)		
	目的を達成するには 以外他に方法はない	1か?類似事業	□ 統廃合できる 🕤 🔲		5 🕽 🔲 統廃領	合できない 🕤	□連携できない 🕤
	との統廃合ができる の連携を図ることに。 が期待できるか?		青少年を対象とする類似事業     ▼他に手段がない 「理由				
	事業費の削減	余地	□削減余地がある【理印		☑ 削減余地が	ない【理由】	<b>₽</b>
効率	成果を下げずに事業 いか?(仕様や工法 の協力など)	養費を削減できな の適正化、住民	優秀作品の表彰に使う報償費	を講師謝金	会等に充てて学習会	に変更する。	
性	人件費(延べ業 減余地	美務時間)の削	□ 削減余地がある 【理日	<u> </u>	☑ 削減余地が	ない【理由】	<b>₽</b>
	やり方を工夫して延 減できないか?成果 正職員以外の職員・ いか?(アウトソーシ	kを下げずにより や委託でできな	コンテストに係る業務時間と、生	学習会とし <i>1</i>	こときと比較した場合	3、同等の業務に	時間で、成果向上が期待できる。
公平	受益機会·費用 化余地	負担の適正	■見直し余地がある 【理	甲子	▼ 公平・公正で	である 【理由】	<b>₽</b>
性評		いか?受益者	市内各学校をとおして、公募と	こしている。			
	評価結果の総括と					当課長記入	m)
(1)	) 1次評価者として( 目的妥当性		(2) 至 見直し余地あり	: 14総括(打	辰り返り、反省点)		
	有効性		▼ 見直し余地あり ▼ 鹿児島	昌弁の継承	は大切なことなので	、もう少し有効な	な手段を用いて継続する。
	効率性 公平性		<ul><li>□ 見直し余地あり</li><li>□ 見直し余地あり</li></ul>				
(3)	今後の事業の方「	句性(改革改善	案)・・・複数選択可	=	L. /+++		改革・改善による期待成果
	□ 廃止 □ 休止 □ 開放 □ 目的再設定 □ 事業統廃合・連打	□ 事業の	0やり方改善(有効性改善) 0やり方改善(効率性改善) 0やり方改善(公平性改善)		犬維持 通りで特に改革改善		EL·休止の場合は記入不要)         コスト         削減 維持 増加
	改革改善案 > 頃、鹿児島弁を使うこ	との少ない若年原	雪や、 県外からの転入者にも理	解できるよう	うに <b>する</b> 。		向 上 成 維 果 括 低 下
			すべき課題(壁)とその解決  心を持ってもらい、理解しても!		空習の機会を設ける		
	,,	100/0 PU / 10/15	239 7 C 0 3 V N X±M+0 C 0:	),cv/ CT	□ ~  M A C   X   1 / 0 0		
1							

		平成	20	年度	事務	事業	評価シ	<b>-</b>						
No.	1240-110	事	務口	韓親善子供え	├伸友好の	翼宝行:	<b>조昌</b> 今活動	力支援	重業	所		部		
-110		事業	1			Ę ( ) .	<b>Χ</b> Α Δ/Π±	11 7 15	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	所		課		課
政策	政策名			唇きあうまちづ エのなるなぜ						課		名	山下修	
体系				Fの健全育成		11					属G(	,	生涯学習	G
-		0 1 会計		′学びを支援で ┃ 項 ┃ 目 ┃	事業	. 'J	事業名				話看		42-1118 1項第12문(	青少年への体験
	予算科目	一般		0 6 0 2	<del>事本</del> 153025	青少	年健全育	<b>忒事</b> 》		括動の実施	<u>5</u> )			
- 7A	*事業の原本		56 45 15 I	1 7 1 1 1	-/m +108870	<u> </u>	左京吉兴	14.0		司法第11名	条第2	項(礼	<u> </u>	
	3事業の概要 ( 親善子供大使)									<u>)</u> の活動を支	'摇		事業期 単年度のみ	间
してし	<b>ハる。(市の活</b>	動)日韓	諱親善子	Z供大使友好の	翼実行委員:	会に運営	営するための	)手続	き等(運営、申	申請書の提出	出、		F十皮のの	
	決定、実績報告									シ初等学校	マン	V È	单年度繰返	
	遣、同校児童並 韓親善子供大作									として設立	∪ <i>t</i> =		•	H 3年度~)
団体	。教育委員会清	<b>第</b> 辺出3	脹所を事	務局として、溝	辺地区の小草	学校、P	TA、子供大						明間限定複数	
	音英初等学校と 見状把握の部		する会を	を会員として連	営している団	本である	Š.		_	_		<u>₽</u> (	年度	~ 年度)
	事務事業の目		 f標											
) <u> </u>	手段(主な活動	<b>力</b> )							活動指			插量	と表す指標)	
	年度実績(20:				<b>の人き</b> 140名	<b>▼</b> &≑ <del>+</del> 日日	1 🗆 00			2	3称			単位
	]25日から27日 ら2月2日に、韓								ア 補助した	た団体の活	5動数	Į		事業
	日目に学校交流				11-0 11/3 /11/1	10,00	, , , , , , , ,		2亩日九1.1	た団体活動	ከ <b>ው</b> ፧壬	新排	模(子供大	
21	年度計画(21:	年度に	計画し	ている主なほ	(重力)			$\Rightarrow$	イ焼めが使参加		ハヘンノロ	ヨカバ		人
子供	大使募集を霧!	島市内:	全域とし	て、国際交流を				,		,	力の活	動規	模(交流に	
	8月24日~2								要した	日数)				日
	付象(誰、何を		こしてい	るのか) *人	や自然資源	等			対象指	標(対象の		を表す	指標)	327 /A-
	市小学5,6年5 助金交付先>		盖之供-	大使友好の翼室	<b>E</b> 行委員会			$\Rightarrow$	ア参加希		称			<u>単位</u> 人
	助対象活動 >	日韓親	善子供	友好の翼実行る	<b>長員会の運営</b>			<b>-</b> /	イ参加決					Ź
				<b>営費、研修会、</b>		入事業			ウ 霧島市	小学5,65				人
	意図(この事業					フレンデ TE	かたになる		成果指			意図	の達成度を表	
る。	、霧島の良さに	. 7610	、円祕前	或 9 るとともに、	隣国器国に -	ノいて珪	# を深め	$\Rightarrow$	ア事業の		3称			<u>単位</u> %
日本	と韓国の文化自	自然習怕	貫等を比	(較し、他の国を	理解受容で	きる国際	際覚を身	7		<u>RACQ</u> 解が身に(	付いた	と感	じる割合	%
につ	•								ウ					
	<mark>詰果(どんな結</mark> の豊かな自然ヨ				できる				上位成绩		果の道 3称	<b>E</b> 成度	を表す指標)	単位
国際	感覚豊かな次ん	代を担う	う人材の	育成。				_	ア体験プロ			児童生	上徒の満足度	<u>+12</u> %
霧島	市の事業等に	積極的	に参画す	する社会貢献で	きる人材の育	成。		$\Rightarrow$	1					
(2) 4	総事業費·指札	西华	1	18年度	19年/	<del>+</del>	20年度		ウ 21年度					
(2) #	で <del>す 未</del> 見 1日15 な カ	宗守 准移	単位	(実績)	(実績		(実績)		(見込)					
	<sub>B</sub>    国庫支	出金	千円	(20,000)	(><>	-,	(20,00)		(20,)					
Ę	事 都道府県 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		千円											
投資	関係 地方 関係 その		千円											
投資	引訳 一般!	<b>讨</b> 源	千円	1,91	7 1,	295	1,11	10	1,800	)				
入 量_	事業費計		千円	1,91		295	1,11		1,800					
	-		1		-	_				1				
			1											
	1													
	ンエモルナビナ西	ア			3	3		3	3					
	活動指標	<u>イ</u> ウ	日日		11 11	8 15		12 15	12 15					
		<del>ープ</del> ア			11	8		12	12					
	対象指標	イ	人		11	8		12	12					
		ウマ				171 100	2,74 10		2,758 100			+		
	成果指標	アイ	%			100	10		100					
		ウ		<u> </u>										
	ᆫᄼᆣᅩᄜᅷ	ア				90	9	90	90					
-	上位成果指標	<u> </u> イ   ウ												
(3)	事務事業の環			意見等						1				

平成3年に旧溝辺町にて陵南小学校が、国際空港が近くにある大韓民国釜山広域市培英初等学校との間で、絵画交流を行なったことがきっかけとなり、平 成4年には子供大使3名を、溝辺町教育長をはじめとした訪問団が、培英初等学校を訪問した。

事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?

国際理解能力を身につける国際交流が重要視され、隣国の大韓民国との交流は特に重要なものとされている。行政間の交流よりも民間の交流活動を重視 する動きがある。合併後は、教育長や企画部長も日本での交流に参加し、また、実施主体を西郷どん交流館等民間団体に移行する動きもある。

この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
旧溝辺町のみの交流なので、市民にはまだ認識不足と思われる。H18年度は霧島市広報誌に陵南小学校の取り組みとして掲載されたが、反応は余りなかった。溝辺地区の住民の中では、補助金を使い、これまでと同じように溝辺地区の小学5、6年生を対象にしてほしいという意見があるが、他の事業とと同様に参加対象者を市へと広げる等改善を図ることも求められている。

	事務事業名	日韓親善子供 活動支援事業	大使友好の翼実	行委員会	所属部	教育部	所属課	生涯学習課
2	評価の部(SEE) <sup>7</sup> 政策体系との		『価、ただし複数: ■ 見直し余地			▼ 結びついてに	ハる【理由】	<b>₽</b>
	この事務事業の目的 策体系に結びつくか が結果に結びついて	? 意図すること				であり、また、 する体験活動となっ		・ 見めることで、他国から見た自分を知 まびついている。
的妥	公共関与の妥	当性	□見直し余地	がある【理	曲)之	☑ 妥当である	【理由】 🖜	
評	なぜこの事業を市(町 ばならないのか?税 達成する目的か?		青少年健全育成と 教育としてその責				とは重要なので	で、この事業を支援することは、社会
1世     	対象・意図の受 対象を限定・追加す 限定・拡充すべきか	べきか?意図を	青少年に早い段隊 解能力を有する/	皆で国際感覚 、学5,6年生	▼ 覚を身に付Ⅰ Eを対象とす	ることは妥当である。	、発達段階的I が、霧島市補	こコミュニケーション能力や国際理 助金を使用し、実行委員会体制と 年生とすべきである。
	成果の向上余	地	☑向上余地が		• •			<b>→</b>
	成果を向上させる余 果の現状水準とある 異はないか?何が原 が期待できないのか	べき水準との差  因で成果向上	国分公民館の韓国が、さらに国際感動	国語講座講師 覚を向上させ	師や霧島市 せるために、	韓国の公共施設見	めえられる方な 学や、国際交流	どを活用し、事前研修を多くした 充支援機構などに訪問する等の韓 にって、成果を向上させることが出来
有	廃止・休止の成	成果への影響	□影響無【ヨ	里由)プ		▼ 影響有 【そ	の内容】 🦜	
対性評!	事務事業を廃止・休 響の有無とその内容							)、絵画作品交流等をPTA、学校な 問は難しくなると考える。
1世	類似事業との紹の可能性	統廃合·連携	▼ 他に手段だ			事務事業) 合または連帯		
	目的を達成するには 以外他に方法はない の統廃合ができるか 連携を図ることにより 期待できるか?	いか?類似事業と ?類似事業との		る <b>う、 「</b> げることで、 [ 、霧島市国[	連携できる 国際交流協会 際交流協会	5 <b>5</b>	、溝辺地区の	■連携できない ラ 国際交流支援団体にこの事業を行、協力をいただき、さらに成果を向
	事業費の削減	余地	□他に手段が が削減余地が			□ 削減余地が	ない【理由】	<u>7</u>
效率	成果を下げずに事業 いか?(仕様や工法 の協力など)	<b>賃を削減できな</b>	交流相手方との折	衝によって	· 費用につ	 ハても同等とさせてに	\ただ\\た。ま <i>†</i>	▼ た、3回の夕食交流会も費用は1回 で、実行委員会も自主財源を持つ等
性		美務時間)の削	☑ 削減余地力	がある 【理日	#1 <del>2</del>	□ 削減余地が	ない【理由】	<b>₽</b>
	Must No	を下げずにより b委託でできな	また、国際交流協	会に事業が	移管されれ	ば、人的物資的資本	トが一本化され	引や謝金等の削減ができる。 し、効率化され効率があがる。 ・チェックすることで、事業の水準は
公平	受益機会·費用 化余地	負担の適正	✓ 見直し余地	かある 【理	即了	□ 公平・公正で	である【理由】	<b>₽</b>
性評	事業の内容が一部の ていて不公平ではな 負担が公平・公正に	いか?受益者				Eされており、偏って 月負担についても、Y		助率も大きい。平成18年度から協議 見直される。
3	評価結果の総括と		E(次年度計画と			N) (担 振り返り、反省点)	旦当課長記入 `	欄)
	)1次評価者として 目的妥当性 有効性 効率性 公平性	<ul><li>□ 適切</li><li>□ 適切</li><li>□ 適切</li><li>□ 適切</li></ul>	▼ 見直し余地あり ▼ 見直し余地あり ▼ 見直し余地あり ▼ 見直し余地あり	) ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	年健全育成 を深めること が、平成201	事業として、溝辺地  ができた。 交流相手 ∓度から募集の対象	区小学5,6年生 方の意向により を全市へ広げ 連携して民間	ならびに溝辺小学校児童に、国際 別訪問児童を溝辺地区に限定して ることができた。また、費用につい 交流として活性化させる課題があ
<	) 今後の事業の方[	▼ 事業の ▼ 事業の ▼ 事業の	のやり方改善(有効のでは)のでは、1000円では、100	性改善) 性改善) 性改善)		通りで特に改革改善	(房をしない)	) 改革・改善による期待成果 発止・休止の場合は記入不要) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
る。 の	成20年度から、子供, 交流相手方は釜山瓜で、今後は、この交流 、事業を運営し、教育	は域市からの補助 きっかけとなった	)がないが、霧島市 みぞべ西郷どん交	の民間交流 流館(霧島市	としては、補 ち国際交流	i助金がないと派遣に	はできない	上 成維 果持 低
み	)改革、改善を実現 ぞべ西郷どん交流館。 全市に対象を広げる	が、この事業に主	体性を持ち、運営	していく意向	があるか確	認し、当面、霧島市	<del>!</del> 教育委員会とし	しては、この事業運営の支援を行

No	1240-120	事事業	務われ	<b>んぱく!きりしま</b>	っ子冒険塾事	業			所属部教育部所属課生涯学				
	政策名	5 711		きあうまちづくり					所属課 生涯学課 長名 山下 何				
政策	佐笙夕			の健全育成					所属G(係) 生涯学				
体系	基本事業名			<u>・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</u>	環境づくり				電話番号 42-111				
		会計	款	項目	事業	事業名		法令 社会教育	•				
	予算科目	一般	1 0	0 6 0 2 1	53025	青少年健全育	<b>育成</b>	根拠	育法第20条 22条				
				方、手順、詳細					事業	期間			
								同じメンバーで活動で , 志學館大学の学生:		<b>,</b>			
する	キャンプ活動や	,鹿児		)工業技術講座も		このほか尹未り	-00	,心学陷入于切子王	₩ 単年度繰過	ź			
平	成21年度からは	ţ,								<u>○</u> (H 1年度~)			
									□ 期間限定初	製年度			
4 7		(BO)							<b>L</b> ( 年)	度~ 年度)			
	見状把握の部 事務事業の目		: 煙										
` =	手段(主な活動	<b>b</b> )						活動指標(事務	<sup>務事業の活動量を表す指標</sup>				
	年度実績(203				、 <b></b> 3:41年   <b>中</b> 10	<b>白</b>			名称	単位			
				館大学生とのキャ) 呉,地球温暖化を				ア実施回数		回			
		_, ,,	- ,	.,	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,								
21	年度計画(21:	年度に	計画し	ている主な活動	)		$\Rightarrow$	1					
		<b>評講座</b> ,	志學館	大学生とのキャンフ	プ活動 ,リーダー	-養成短期集		<del>ن</del>					
	座,閉講式	11 / L		704									
	<mark>可冢(誰、何を</mark> 市内小学4年生			るのか) * 人や[	<b>目然</b> 質源寺			对家指標(対象	R <mark>の大きさを表す指標)</mark> 名称	単位			
(平成21年度は小学5年生~中学2年生) プル学4年生~高校生 人													
	/ <u>イ</u> ウ												
쿹	音図(この事業	によっ	て対象	象をどう変えるの	<u>ጋ</u> ታ\ )				象における意図の達成度を	表す指標)			
	が, 心豊かで健全なリーダーとしての自覚に目覚める。 単位 単位												
							$\Rightarrow$	ア参加者数		人			
							,	イウ					
	吉果(どんな結								(結果の達成度を表す指標	票)			
霧島	の豊かな自然の	り中で	<b>羕々な体</b>	験活動ができる				フは除活動プログラ	<b>名称</b> ムに参加した児童生徒の満足D	単位 g %			
							$\Rightarrow$	イ 体験/百動プロック	ムに参加した心里土化の過失が	× 70			
								ウ					
(2)	総事業費・指標	票等 隹移	単位	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (実績)		21年度 (見込)					
Т	国庫士		千円	(天/)县/	(大順)	(大順)		(光达)					
1		支出金	千円										
A A	事源 地方 地方 その ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		千円							_			
投資	割訳 一般!		千円	732	634	44	6	630		_			
入 量-	事業費計	(A)	千円	732	634	44	6	630					
										_			
							+			<u> </u>			
Ш				10			$\perp$						
	活動指標	アイ	回	10	9	1	U	3		_			
	/口玉//]口1示	<u> </u>											
	114 15 1 <del>=</del>	ア	人	13,073	12,887	12,76	9	3,510					
	対象指標	イウ											
		ア	人	98	88	13	3	19					
	成果指標	1											
		<u>ウ</u> ア	%	未把握	90	9	0	90					
_	上位成果指標	-	70	ハルル	30								
(O) 7	まみま 光 へ 一	ウ培命化	v A D	辛日 <i>生</i>									
(3) <del>=</del>	事務事業の環 の事務事業	児发作 を開始	したきっ	意見等 <mark>♪かけは何か?し</mark>	ハつ頃どんかぬ	<b>圣緯で閏始さ</b>	h. <i>t</i> -	のか?					
(1)	<del></del>	- 1/11 <u>/ H</u>		.5 .7 .6 . 3/5 . (		C N 11 V 11 C		· · · · · · · · · · · · · · · · · ·					

現代の青少年にとって,異年齢での自然体験活動が不足している。次代を担う青少年が健全に成長し,ふるさとのよさを再確認する目的で平成元年から開始された。

事務事業を取り巻〈状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 5年前と比較して,児童・生徒が市内全域から参加するようになった。

この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 参加者の保護者から活動を継続するよう要望があった。

	事務事業名	わんぱく!きり	しまっ子冒険塾事業	所属部	教育部	所属課	生涯学習課
2	<b>評価の部</b> (SEE) * 政策体系との整		『価、ただし複数年度事業に ■ 見直し余地がある【理		▼ 結びついている	【理由】「	<u></u>
	が結果に結びついて	へ?意図すること	市内全域から集まった参加者	•	これ (での活動を通して,次代	た担う健全	とな青少年を育成を図る。
的妥	公共関与の妥		■見直し余地がある【理	曲】	☑ 妥当である 【理	曲万	
性評	する目的か?	行わなければな 投入して、達成	他校の児童・生徒との交流とは	本験は,次1	代を担う青少年の育成は	t , 市の役割	引である。
価	対象・意図の妥	ē当性	☑ 見直し余地がある 【理	即之	□ 適切である【理	曲	
	限定・拡充すべきか	?	がある。				D定員や安全性から, 再考する必要
	成果の向上余		□ 向上余地がある 【理日		▼ 向上余地がない	【理由】「	<b>₽</b>
	成果を向上させる余 果の現状水準とある 異はないか?何が原 が期待できないのか	べき水準との差 見因で成果向上	参加者の意識の向上が確認す	できている。			
有	廃止・休止の成	は果への影響	□影響無【理由】与		▼ 影響有 【その内	容] 🦜	
効性評	事務事業を廃止・休 響の有無とその内容		対象者の他校及び異年齢での	の活動の場	がなくなる。		
価	類似事業との約 可能性	充廃合・連携の	□ 他に手段がある(具体	的な手段	事務事業)		
	目的を達成するには 以外他に方法はない	1か?類似事業	□ 統廃合できる 🕤 🗆	連携でき	る 🕤 📗 統廃合で	きない 🕤	□連携できない 🕤
	との統廃合ができるた の連携を図ることによ		他に類似の事業がない。				
	が期待できるか?	<b>△</b> +h	▼他に手段がない【理由			/TIII 1	
	事業費の削減		┣━削減余地がある 【理日	⊞1 <b>→1</b>	▼ 削減余地がない	【理田】	<b>→</b>
効率	の協力など)	の適正化、住民	現在でも,地域住民や他の行				
性評	人件費(延べ業 減余地	終時間)の削	□ 削減余地がある 【理日	<b>₽</b> ] <b>→</b>	☑ 削減余地がない	【理由】	<b>₽</b>
	やり方を工夫して延ん	kを下げずにより や委託でできな	休日を活用する事業であり、肖	削減できない	١, ١,		
公	受益機会·費用 化余地	負担の適正	■見直し余地がある 【理	即之	☑ 公平・公正である	3 【理由】	<b>₽</b>
平		カログネに位					
計	事業の内容が一部の ていて不公平ではな 負担が公平・公正に	いか?受益者	対象者全員に,案内チラシを	配布し,参	加希望者は全員受け入る	れている。	
			(次年度計画と予算への反			果長記入	制】
(1)	) 1次評価者として( 目的妥当性		(2) 3 ▼ 見直し余地あり	三体総括(:	振り返り、反省点)		
	有効性	☑ 適切	見直し余地あり 徐久			:事業である	る。プログラムの内容により学年制
	効率性 公平性	<ul><li>✓ 適切</li><li>✓ 適切</li></ul>	<ul><li>□ 見直し余地あり</li><li>□ 見直し余地あり</li></ul>	男考し(行)	〈必要がある。		
(3)	今後の事業の方向	句性(改革改善	案)・・・複数選択可				改革・改善による期待成果
	<ul><li></li></ul>	事業の	のやり方改善(有効性改善) のやり方改善(効率性改善) のやり方改善(公平性改善)		状維持 通りで特に改革改善をし		発止・休止の場合は記入不要) - コスト - コスト - 削減 維持 増加
	改革改善案 > 加対象の学年を , プロ	1グラム内容により	り幅を持たせる。				向 上 成維 果 低 下
			すべき課題(壁)とその解決	<del></del>			
参	加者の安全性の確保						

事務事業評価シート

		平风	20	<b>平</b> 反	争份争利	表評価ンー	Γ						
No.	1240-320	事	務	りしまふるさと学	容				所 属	部霧島出張			
110.		事業	名   こ	7083.000	ж.				所 属	課教育振興			
Th 22	政策名	0 4	育み磨	き合うまちづく!	j				課長	名 福森 茂林	尌		
政策 体系	施策名	0 2	青少年	の健全育成					所属係(	G) 教育グル	ープ		
件尔	基本事業名	0 1	体験と	学びを支援する	環境づくり				電話番	号 57-1111			
		会計	款	項 目 0:60:21	事業	事業名 少年健全育成	#₩ 法令			•			
Ť	5算科目	一般	1 0	0 6 0 2 1	53025 青	少年健全育成	事業根拠	なし					
車級	重業の概要(	目体的	5 <i>†</i> 24511			数年度重要付	・	(者)	Ī	事業	胡思		
				<u>力、子順、計細</u> 中心とした地域(					/けて!. <b>\</b> 「	<del></del>			
				える心」「失敗に						一十一及0007			
				により、自立性や						☑ 単年度繰返			
				や校区の人々に							H 14 年度~)		
			ら中学	3年生までとし、	3泊4日、霧島	島公民館で実施	する。		[	] 期間限定複数	效年度		
	費は1,500F									┗(年度	~ 年度)		
	状把握の部												
	務事業の目		襟				^イチ	+6.1=./=		* = * * * * * * * * * * * * * * * * * *			
	段(主な活動 <del>E度宝績(201</del>		/テった:	士力心千重加			7百里/	拍信(事	<u>・務事業の活</u> 名称	動量を表す指標)	単位		
生活体験や自然体験活動を行う、主か活動は、霧阜神楽の練習風景を目覚しそう													
かん流しと救急非常食作り、星空観測、グループによる夕食買い出し。											回		
								4. 1 - 1.					
21年	E度計画(215	年度に	計画し	ている主な活動	1)	· ·	🕇  イ 事業	参加者			人		
	度に同じ	1,2,1-			, ,		_						
							ウ						
対	象(誰、何を	対象に	してい	るのか) * 人や	自然資源等		対象	指標(対	象の大きさを	表す指標)			
霧島地	霧島地区に在住する,集団生活に支障のない児童生徒(小4~中3) 、 名称 単位												
	ア   雰島地区小学4年~中学3年の人数   人												
	1												
音	図(この事業	によっ	て. 対:	象をどう変えるの	D 11)			指標(対	象における	意図の達成度を表	(す指標)		
	きりしまふるさと学寮に参加してもらう 単位 <b>名称 単位</b>												
	ア また参加したいと答えた参加者の割合 %												
								後の日常生	<b>上活において変</b>	容の見られた割合	%		
4±	果(どんな結	田 I = 4:	± 7 \$ / <del>. †</del> 1-	+20th)			ウト位	北田北北	西/姓田の法	成度を表す指標)			
				ファック ( ) マな体験活動がで	<b>∵</b> きる.		<u> </u>	<b>以木</b> 1日1	<del>京(編末の度)</del> 名称	<b>以反で衣り</b> 拍標)	単位		
331-0	0 ± 0 0 H M	-40.70.02	1 (1)	( O F   O F   O F		<u>-</u>	▲ ア 体験シ	5動プログ		児童生徒の満足度	%		
						L	プ (本語) / イ						
(0) (4)	***	<del></del>		10 E E	40/5	20/5	ウ						
(2) 総	事業費・指標 の担		単位	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (実績)	21年度 (見込)						
	日田唐古		千円	(大限)	(大限)	(大限)	(无处)						
	<b>划</b>		千円										
事業投費	<b>ルカー 地方</b>		千円										
投費	訳その		千円		110			40					
Iλl	が 一般! 事業費計		千円	0	110 110	0		40					
量—	争耒貝司	(A)	十円	0	110	0		40					
				_									
	ンイチャナド・ナボ	ア	- 🗇		1	1		1					
	活動指標	イウ	人		23	34		32					
		ア	人		309	286		265					
	対象指標	1			000	200				1			
	j j												
	- m 15 1-	ア	%		100	100		100					
	成果指標	<u>ا</u> ک	%		57	60		60					
-		ウ ア	%		90	90		90		<del>                                     </del>			
+	位成果指標	7	70		90	90		90					
l <sup>+</sup>	マッペペーコロ (1次	ゥ											
(3) 事	務事業の環	境変化	·住民	意見等	<u> </u>			<u> </u>		•			
5	の事務事業で	を開始	したきっ	かけは何か?	いつ頃どんな約	経緯で開始され	たのか?						

平成14年から3年間,旧霧島町で実施。青少年育成事業の中で異年齢集団で宿泊体験(通学学舎)活動を始めた。

事務事業を取り巻〈状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 対象児童生徒の要望が多様化した。

この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 参加児童の感想として、特に母親の家事に関する大変さが良く分かり、親に対する感謝の気持ちが多数寄せられている。

	事務事業名	きりしまふるさ	と学寮	所属部	霧島出張所	所属課	教育振興課				
2	評価の部(SEE) 政策体系との		価、ただし複数年度事業は ■ ■ 見直し余地がある 【理	•	▼ 結びついている	【理由】	<del></del>				
目は	この事務事業の目的 策体系に結びつくかが結果に結びつい	りは市(町)の政 ↑?意図すること	ふるさと学寮を実施することに	•			•				
的妥	公共関与の安		□見直し余地がある【理	曲】	☑ 妥当である 【理	曲 之					
性評	なぜこの事業を市からないのか?税金をする目的か?	が行わなければな ・投入して、達成	青少年育成事業を行うことは行	行政の役割	であり妥当であり、補助:	金を支出す	「ることは妥当である。				
価	対象・意図の多	妥当性	□見直し余地がある【理	曲】与	☑ 適切である 【理	曲】之					
	対象を限定・追加す 限定・拡充すべきか		地域の子供達が健全に育成る	されるために	補助するものであり、対	象意図とも	5妥当である。				
	成果の向上余	地	□ 向上余地がある 【理日	#] 🕏	▼ 向上余地がない	【理由】	<b>₽</b>				
	成果を向上させる余 果の現状水準とある 異はないか?何が原 が期待できないのか	べき水準との差 原因で成果向上	地域に暮す子供達は減少傾	句にあり、活	動としても現状維持がキ	青一杯であ	<b>ა</b> .				
有	廃止・休止の原	<b>は果への影響</b>	□影響無 【理由】 🖜		▼ 影響有 【その内	容] 🤝					
効性評	事務事業を廃止・休響の有無とその内容		ふるさと学寮は、貴重な異年齢	齢での集団生	生活体験の一つであるが	が、他にもホ	<b>様々な体験活動プログラムがある。</b>				
価	類似事業との 可能性	統廃合・連携の	□ 他に手段がある(具体	的な手段,	事務事業)						
	目的を達成するには 以外他に方法はない との統廃合ができる	ハか?類似事業 か?類似事業と	無統廃合できる <b>気</b> 無似する事業がない。	連携できる	3 🕤 🗌 統廃合で	きない 🕤	□連携できない 🔽				
	の連携を図ることにより、成果の向上 が期待できるか?										
	事業費の削減		□削減余地がある【理日	事」。	▼ 削減余地がない	【理由】					
効率	の協力など)		   地元住民の協力により適正に 	活動してい	<b>ర</b> .						
性		養務時間)の削	□ 削減余地がある【理日	則多	▼ 削減余地がない	【理由】	<u>₽</u>				
		や委託でできな	職員は補助金の申請受付及の の余地は無い。	び交付、実績	責報告に係る事務が主	であり、必要	要最低限の事務であることから削減				
公	受益機会·費用 化余地	用負担の適正	■ 見直し余地がある 【理	曲プク	☑ 公平・公正である	3 【理由】	<b>₽</b>				
評	事業の内容が一部は ていて不公平ではな 負担が公平・公正に	いか?受益者	霧島地区に限定されている。								
3			  (次年度計画と予算への反	映)(PLAN	1) 相当	课長記入	7				
(1)	1次評価者として 目的妥当性	の評価結果	(2) 至				····				
	有効性 効率性	<ul><li>☑ 適切</li><li>☑ 適切</li><li>☑ 適切</li></ul>	□ 兄旦∪宗地のリー/定され				ではあるが、対象が霧島地区に限 4位の自主的な事業実施が必要で				
(2)	公平性		☑ 見直し余地あり	. 5/201		[(4)	, み茎, み差に b る期待成用				
	) 今後の事業の方1 □ 廃止 □ 休止 □ 目的再設定 □ 事業統廃合·連 改革改善案 >	□ 事業 <i>0</i> □ 事業 <i>0</i>	案)・・・複数選択可 )やり方改善(有効性改善) )やり方改善(効率性改善) )やり方改善(公平性改善)		犬維持 通りで特に改革改善をし	(房	改革・改善による期待成果 発止・休止の場合は記入不要) コスト 削減 維持 増加 向 上 成維 果持				
(5)	)改革、改善を実現	する上で解決す	すべき課題(壁)とその解決	<del></del>							

			20	十一尺	2.3712.7	木口三三						
No.	110-050	事事業	務あり	ハさつ運動推進	事業						<b>国 部 総務部</b>	
											<b>属 課 総務課</b>	_
政策	政策名	0 4		きあうまちづくり							長 名 宗像 成日	
体系		0 2	青少年	の健全育成						所属(	G(係) 市民運動	推進室
件方	基本事業名	0 2	青少年	の非行防止のカ	ための環境づ	くり				電話	番号 45-5111	
		会計			事業	事業名			:+ ^			
	予算科目	一般			10010 市	民運動推進	経費		法令 根拠	U		
事務	事業の概要(	具体的	内なやり	方、手順、詳細	。期間限定複	数年度事業	は全	体侈	(を記述)		事業期	間
				宝、地域、学校の選						単位でのあ	□ 単年度のみ	1-5
				各校区では、愛の							++\&\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	
				上や抑止効果に役							☑ 単年度繰返	
				区を対象にモデノ			組みを	を進む	めてもらって	ている。		S 44 年度~)
モデ	ル校区には、活	動に必	必要な腕重	章や旗などの購入	費用を助成して	いる。					┃   期間限定複数	
											<u>  別</u> 間限足援勢   <b>  </b>   年度	
1 I	見状把握の部	(DO)									十尺	十尺)
	事務事業の目		させ車									
	手笏争乗の日 F段(主な活動		引示						:千击 性 拉	= (事殺事業の	)活動量を表す指標)	
	FFR(王は)点駅  年度実績(20		ニークテっさ	た士か迁動)					/ 白里川1日代	<del>於(事務事業)。</del> 名称	が 当里で衣り拍信)	単位
	千皮夫領(2)  事業の概要と同		.101171	こ工(4/白野)						口彻		<b>千</b> 世
717	初事未り似女に可求							ア	モデル杉	区		校区
					F1 .		$\rightarrow$	1	あいさつ	運動の推進	校区	校区
		年度	に計画	している主な活	重力)		$\neg$					
前牛	度と同様							ゥ				
				るのか) *人や					対象指標	票(対象の大き	さを表す指標)	
校区	青少年育成連絲	各会(各	学校にで	できるよう推進してい	, Nる。)		, k			名称		単位
							$\Rightarrow$	ア	市内各小	い中学校の	数	校
							,	1				
ウ   ウ   ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・												
	意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 家庭・地域・学校の3者連携であいさつ運動に取り組み、青少年の非行防止や抑											
	・地球・子校の3 果を生む。	<b>百</b> 建拐	きじめいる	シノ連動に取り組の	が、育少年の非	小小山山山山	_	_	古光を立		の割合	単位
шхл	未を主む。						$\Rightarrow$		争業を表	施した校区	の割合	%
								イウ				
4.	吉果(どんな結	田にも	(±7 )(+)-	ナスのか)					上位式用	也 <del>悔</del> (姓田)	達成度を表す指標)	
	のルールを身に			) @ () () ()					工业水本	<del>]日信(紀末0)</del> 名称	/圧   及で化り1日信	単位
	をさせない環境			<b>なる</b> )。			, k	ア	青少年が他人に迷		前に比べて減ったと考える市民の割合	<u> </u>
			,	- /-			$\Rightarrow$	-			<b>環境となっていると考える市民の割合</b>	%
							,	ゥ				
(2) \$	総事業費·指標	等	単位	18年度	19年度	20年度			年度			
,	の批		半江	(実績)	(実績)	(実績)		(5	見込)			
	財工事	出金	千円									
I	部 都道府県 部 市 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	七中仝	1									
1 13			千円									
불	地方	責	千円									
当 投 耄	地方 地方 その	責 他	千円									
投資	大き おり そのか そのか 一般則	債 他 打源	千円 千円 千円	600	600	70			700			
投入量	***   地方( ***   一一代) ***   一般! ***   事業費計	債 他 打源	千円	600	600	70 70			700 700			
投入量	川又只	債 他 打源	千円 千円 千円									
投入量	川又只	債 他 打源	千円 千円 千円									
投入量	川又只	債 他 打源	千円 千円 千円									
投入量	川又只	債 他 打源 (A)	千円 千円 千円	600	600	70	0		700			
投入量————————————————————————————————————	事業費計	債 他 打源 (A)	千円千円千円千円	600	12	70	4		700			
投入量	川又只	債 他 打源 (A)	千円 千円 千円	600	600	70	4		700			
投入量	事業費計	債 他 打源 (A) アイウ	千円 千円 千円 千円 校区 校区	12 17	12 20	11. 2	4 0		700 14 27			
投入量	事業費計	情他 が源 (A) アイウア	千円千円千円千円	600	12	70	4 0		700			
投入量 ————————————————————————————————————	事業費計	情他 が源 (A) アイウアイ	千円 千円 千円 千円 校区 校区	12 17	12 20	11. 2	4 0		700 14 27			
投入量	事業費計	情他 (A) アイウアイウ	千円 千円 千円 千円 校区 校区	12 17 46	12 20 46	1. 2.	4 0		14 27 46			
投入量	活動指標対象指標	情他 (A) アイウアイウア	千円 千円 千円 千円 校区 校区	12 17	12 20	11. 2	4 0		700 14 27			
投入量	事業費計	情他 (A) アイウアイウ	千円 千円 千円 千円 校区 校区	12 17 46	12 20 46	1. 2.	4 0		14 27 46			
投入量	活動指標対象指標	in the factor	千円 千円 千円 千円 校区 校区	12 17 46	12 20 46	1. 2.	4 0 6		700 14 27 46 58.7			
量—	活動指標対象指標	債他が (A) アイウアイウアイウ	千円       千円       千円       千円       校区       校区       校区       校区	12 17 46	12 20 46	1. 2 4	0 4 0 6		700 14 27 46 58.7			
	活動指標対象指標	漬し (A)  アイウアイウアイウ	<ul><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>千円</li><li>校区</li><li>校区</li><li>校区</li><li>校</li><li>%</li><li>%</li><li>%</li><li>%</li></ul>	12 17 46 39.9 28.1 16.6	12 20 46 43.4	10 2 4 43	0 4 0 6		700 14 27 46 58.7			

旧国分市で昭和44年に道義高揚運動を開始以来、温かい人間関係をつくるため、あいさつ運動を展開しており、平成11年度からは、家庭・地域、学校の3者連携による運動となった。平成16年度からは、モデル 校区を定め、モデル事業としてあいさつ運動を展開しており、平成18年度からは、新市の校区を対象としている。

事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 青少年を取り巻く環境は日々悪化している。これに伴い、あいさつ運動も愛のパトロール隊の設置や登校時の声掛けなど変化している。

この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? あいさつ運動モデル校区の指定を受けたことにより、防犯パトロール隊の結成やあいさつ標語コンクールの実施ができたと、実施校区からは喜ばれている。

	事務事業名	あいさつ運動技	推進事業	所属部	総務部	所属課	総務課
2			4価、ただし複数年度事業			/rm 1	
L	政策体系との表 この事務事業の目的 策体系に結びつくか	りは市(町)の政 ↑?意図すること	■ 見直し余地がある 家庭、地域、学校の3者連携の非行防止や抑止効果を」	携のもと、愛の		交時にあい	* さつ運動を推進することは、青少年
目的妥	ハ井田上の立		□見直し余地がある		▽ 妥当である【理		5 5 0 1 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
当性			本事業は、青少年の非行防	止のための環	境づくりを行うためのもの	のなので、 <del>`</del>	妥当である。
価	対象・意図の	<b>卒当性</b>	■ 見直し余地がある	(理由) 5)	☑ 適切である 【理	由15	
	対象を限定・追加す限定・拡充すべきか	べきか?意図を	家庭、地域、学校が連携し	て運動に取り約 している校区も	且むことによって、それそ 青少年育成連絡会を対! である。	れが単独 象としてい	で行うより効果が上がることが期待さる。 意図としては、青少年の非行防
	成果の向上余	地	☑ 向上余地がある 【理	理り 之	□ 向上余地がない	【理由】	<del>_</del>
	成果を向上させる余 果の現状水準とある 異はないか?何が原 が期待できないのか	べき水準との差 気因で成果向上	より多くの校区があいさつ運	動に取り組む	ことにより、成果が向上で	する。	
有	廃止・休止の原	成果への影響	□影響無 【理由】 🕤	•	▼ 影響有 【その内	容] 🤝	
効性評	事務事業を廃止・休 響の有無とその内容		青少年の非行防止のための	)環境づくりが	進まない恐れがある。		
価 	類似事業との	統廃合·連携	□ 他に手段がある(具	体的な手段,	事務事業)		
	目的を達成するには以外他に方法はない	いか?類似事業と	🦳 統廃合できる 🕤	□ 連携できる	る 🕤 🗌 統廃合で	きない 🔽	■連携できない 🕤
	の統廃合ができるか 連携を図ることにより 期待できるか?		類似事業はない。				
$\vdash$	事業費の削減	全地	<ul><li>✓ 他に手段がない【理</li><li>✓ 削減余地がある【理</li></ul>		▼ 削減余地がない	【押山】	5
			Hilliox 1511,00.9 (1)	±⊞1 <b>↓</b>	日が火光をひない	(注四)	•
効率			事業費は、モデル校区があ はない。	いさつ運動に			の費用なので、事業費削減の余地
性評	人件費(延べ美 減余地	業務時間)の削	□ 削減余地がある【班	理由)プ	☑ 削減余地がない	【理由】	<b>₽</b>
価	やり方を工夫して延減できないか?成果 正職員以外の職員・いか?(アウトソーシ	具を下げずにより や委託でできな	業務としては、モデル校区と あることから、削減余地がな		校区からの申請等を処理	理する業務	らくらいであり、業務時間もわずかで
公	受益機会·費戶 化余地	用負担の適正	□見直し余地がある	【理由】 🕏	☑ 公平・公正である	3 【理由】	<b>₽</b>
		いか?受益者	校区の募集はすべての学校	交区に対して行	fっており、受益機会は2	公平である	取り組む事業である。また、モデル。 ・ て受益者負担を求める必要はない
3	   評価結果の総括の   1次評価者として		[ ○ (次年度計画と予算への (2)		N) 担当 振り返り、反省点)	課長記 <i>入</i>	.桐)
(')	目的妥当性		□ 見直し余地あり 🔟	,	,		
	有効性		▼ 兄且 ∪ 示地のリー/ に-				)非行防止や抑止効果を生むととも   り、全学校へ推進を呼びかけていき
	効率性		□ 見直し余地あり たい		,		1 //
(3)	公平性   今後の事業の方		☑ 見直し余地あり 案)・・・複数選択可			[Δ	
<	<ul><li></li></ul>	▼ 事業の ■ 事業の 携 ■ 事業の	来)		状維持 通りで特に改革改善をし	( A	発止・休止の場合は記入不要) 
市	内全学校への推進の	呼びかけ					上 成維 果 低 下
(5)	改革、改善を実現	見する上で解決	すべき課題(壁)とその解	決策		-	

No.   110-070   事務				-		2.373 2.3	~ H I I I I I						
政策名 0 1 日	No	. 110-070	事事事	務地	域で育てる青少	年健全育成事	業				<u> </u>		
議議会 0 2 青少年の優全自成		功等夕	3		麻キならまた づ / I	1							1
本事業的   2   一部	政領	-	_			)							
	体系	A				ナルの理培づ	7.11						推進至
一		基本事業名									電話	番号 45-5111	
「自分の民に任き申少年は、反応で育を持って良ます。という考え方から各小・中平校区に民政・中学音会育成建議会を設置、 し、地域の特性と近い。実が中級全員が表現学の展現するとことも、地域でも大き海の経過が2017~となり、南少年 の言葉の主義の決重します。 東京地区 (10 回)  「		予算科目						経費	į	法令 根拠	U		
し、総名の特性を活かした青少年の配金角級事業を展開することもの、地域であたよる青少年性金角級の機能では行う場合。	事務	務事業の概要	(具体	的なやり	)方、手順、詳細	。期間限定複	数年度事業	は全	'体(	象を記述)		事業期	間
接属の中の単位を含用などのという。	自分	か校区に住む青	少年は、	校区で責	責任を持って育成する ************************************	る」という考え方から	6各小·中学校区	に校図	X青/	少年健全育局	<b>戈連絡会を設置</b>	□ 単年度のみ	
の発音音成といて協議を行うともは構築中声が打選取る実践活動を行う。													
現地域 (の (								ᄣ	U) [X	臭ル・アンハ	こなが、自クキ	☑ 単年度繰返	
明月明末代表で及一及 年度   年度   年度   年度   年度   年度   年度   年度			成支部会	除議の設置	置(旧3町に設置し、対	也域の代表者がメン	ンバーとなり、地	域性を	もった	た青少年健全	≧育成を推進し	(	H 11 年度~)
連技技術 (の部(00)	てい	<b>ప</b> 。)										□ 期間限定複数	
(1) 事務事業の目的と指標												┗(年度	~ 年度)
手段(主な活動)   2位を実施(20年度に行った主な活動)   2位を実験(20年度に関する)   2位を実験(20年度に関する)   2位を実験(20年度に関する)   2位を実験(20年度に関する)   2位を実験(20年度に関する)   2位を表す。   2位													
20年度上行った主な活動				<b>旨標</b>									
日小・中校区高少年健全育成に関する支部会議への経費の助成				/ <del>-</del>	<u>し いつてまし</u> 、					活動指標		活動量を表す指標)	W /-
### 20						公关 叶宁 勿弗	о Пь <del>г.,</del>			1	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		単位
21年度計画(21年度に計画している主な活動)   1年度計画(21年度に計画している主な活動)   1年度計画(21年度に計画しているか) * 人や自然資源等   1年度と同様   1年度と同成支部会議   1年度							の別成		ア	校区青少	>年育成連絡	会の設置数	校
対象 注 ( 何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 市内小・中学校 市市 中華 全 年 成文部会議    対象 注 ( 何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 市内小・中学校の数 校	7分 三	1111日ン十姓土	ᆸᄱᅜᄕ	עני נותו	いな成りの紅貝	<b>シンロバンドバ</b>			Ĺ				125
対象 注 ( 何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 市内小・中学校 市市 中華 全 年 成文部会議    対象 注 ( 何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 市内小・中学校の数 校				4				$\vdash$	1	支部会議	気の設置数		地区
対象 指 何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 市内小・中学校 市青少年健全育成支部会議			年度に	こ計画し	ている主な活動	))		7	Ľ	7H-7H	20010000		- 50
対象 (部、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	前年	度と同様							r				
□ およって、対象をどう変えるのか)													
市青少年健全育成支部会議   中で			対象は	こしてい	るのか) * 人や	自然資源等				対象指標		を表す指標)	37.71
意図 (この事業によって、対象をどう変えるのか)			士如人	≐≢				_	_	1++01		<b>h</b>	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 青少年健全育成連絡会が設置される。	巾目	少年健主自成	又心云	<b>武</b>				7	<u> </u>			X	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 青少年健全育成連絡会が設置される。 ・									1		で部会議の数		- 地즈
# 位	=	き図(この事業	¥1 ⊢ -	って tit	免たどう亦える	711			.,		(分争におけ	ス 音図の達成度を <b>ま</b>	オセ挿)
### おきまます						() ()				/及木]日位		8 思凶の连ル反で公	
A								$\rightarrow$	ア	設置した			
括果(どんな結果に結び付けるのか)   社会のルールを身につけ、守る。   単位   18年度   19年度   (実績)   (実績)   (収益)   18年度   19年度   (収益)   18年度   (収益)   (収益)   18年度   (収益)   (収益)								7	1	設置した	支部の割合		
全様のルールを身につけ、守る。													-
#行をさせない環境をつくる(環境となる)。    ***********************************	4	結果(どんな結	黒に	結び付け	けるのか)					上位成果	指標(結果の	達成度を表す指標)	
18年度					1 4								
18年度   19年度   20年度   21年度    非汀	でさせない環境	をつく	6 (坂境)	となる)。			$\rightarrow$	ア					
18年度								7	1		にとって市民が望ましい環	境となっていると考える市民の割合	%
日本   日本   日本   日本   日本   日本   日本   日本	(2)	<b>炒車光弗 −12.</b>	<b>西</b>		40年度	40年帝	20年度					1	
国庫支出金   千円   1   1   1   1   1   1   1   1   1	(2)			単位									
おおけっぱ   おおけっぱ   大円   1月   1月   1月   1月   1月   1月   1月   1	$\vdash$	国庫士		千円	(太禄)	(太禄)	(大限)	+	(.	元(스)			
大大  大大  大大  大大  大大  大大  大大  大大  大大  大													
	1	事											
	ŧл ā	表   <u> / / </u> その	他	千円									
	入了	一般!		千円	660								
	量	事業費計	(A)	千円	660	590	47	75		995			
活動指標 イ 地区 3 3 3 1 5 5 9 9 9 9 1 1 1 5 9 9 9 9 1 1 1 1 1													
活動指標 イ 地区 3 3 3 1 5 5 9 9 9 9 1 1 1 5 9 9 9 9 1 1 1 1 1													
活動指標 イ 地区 3 3 3 1 5 5 9 9 9 9 1 1 1 5 9 9 9 9 1 1 1 1 1				1									
活動指標 イ 地区 3 3 3 1 5 5 9 9 9 9 1 1 1 5 9 9 9 9 1 1 1 1 1	$\vdash$		7	校	2/	27		25		22			
ウ       ウ       ク       校       46       6       6       6       6       6       6       6       6       6       6       6       6       6       6       6       6       6       71.7       7.7		活動指煙											
対象指標       ア 校       46       47       47       47       47       47       47       47       47       47       47		1日 まい 1日 1 示	<del> </del>			3				5			
対象指標 イ 地区 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6					46	46	4	16		46			
ウ     ウ     52.2     58.7     54.3     71.7       成果指標     イ %     50.0     50.0     16.7     83.3       ウ     ア %     28.1     12.3     15.6     14.0       上位成果指標     イ %     16.6     22.0     24.6     24.0		対象指標	1		6	6		6		6			
成果指標 イ % 50.0 50.0 16.7 83.3 ウ			ウ										
ウ     ウ       ア %     28.1     12.3     15.6     14.0       上位成果指標     イ %     16.6     22.0     24.6     24.0       ウ     ウ     0     0     0		n											
上位成果指標     ア %     28.1     12.3     15.6     14.0       上位成果指標     イ %     16.6     22.0     24.6     24.0		成果指標			50.0	50.0	16	.7		83.3			
上位成果指標     イ %     16.6     22.0     24.6     24.0	<u> </u>				22.4	40.0	1-			44.0			
j d		位代田北海											
	-	山山以来指標		%	76.6	22.0	24	٥.		24.0			
	(3)	重移重業の理		<b>↓</b>									

21世紀を担う青少年を心豊かでたくましく育成するため、地域総ぐるみで青少年健全育成に取り組むこととし、各小・中学校区への校区青少年健全育成連絡 会の設置を平成11年度から旧国分市で開始した。また、合併に伴い、平成18年度から旧6町に青少年健全育成を検討する支部会議の設置を開始した。

事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 青少年を取り巻く環境は、治安の悪化や有害図書等の氾濫など、放置できない状況にあるが、校区の青少年育成連絡会や青少年健全育成支部会議が活動 することにより、地区民の意識の高揚に役立ち、防犯パトロール隊の発足や有害図書自動販売機追放運動にもつながっている。

この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 学校・家庭・地域が連携し、校区に住む子どもたちを責任をもって育成することができるようになったとの地区民からの意見がある。 校区青少年育成連絡会を開催できない学校の先生方からは、類似する会議が多すぎて開催できないとの意見がある。

	事務事業名	地域で育てる詩	<b>青少年健全育成事業</b>	所属部	総務部	所属課	総務課				
2			一個、ただし複数年度事業に			/m+1					
	政策体系との要 この事務事業の目的 策体系に結びつくかが結果に結びついっ	りは市(町)の政 か?意図すること		····· <b>*</b> む青少年  成連絡会を		育てる」とし	いう考え方から青少年健全育成支 建全育成を図るものであり、非行をさ				
的妥	公共関与の妥	当性	 ■ 見直し余地がある 【理	!曲】 🖜	▼ 妥当である 【理	曲)					
当性評	なぜこの事業を市からないのか? 税金をする目的か?			くりとして最			区内で責任を持って育ててもらうこ ることにより非行の抑止効果がある				
1曲	対象・意図の	妥当性	■ 見直し余地がある 【理	曲〕	☑ 適切である 【理	曲)之					
	対象を限定・追加す 限定・拡充すべきか		市内全ての地域や学校を対象 り、妥当である。	えとしている。			<b>与少年の健全育成を図るものであ</b>				
	成果の向上余	:地	▼ 向上余地がある 【理由】  ▼								
	成果を向上させる余 果の現状水準とある 異はないか?何が原 が期待できないのか	べき水準との差 原因で成果向上	青少年支部会議と校区青少年 めの環境づくりが図られることだ				ことにより、青少年の非行防止のた				
有	廃止・休止の原	成果への影響	□影響無 【理由】 🕤		▼ 影響有 【その 🏿	容】 🖜					
効性評	響の有無とその内容		地域や校区の市民が青少年のが減らなくなる恐れがある。	)健全育成	について責任を持って『	育てる気運	が減少し、青少年を巻き込む犯罪				
価	類似事業とのの可能性	統廃合·連携	□ 他に手段がある(具体	的な手段,	事務事業)						
	目的を達成するには 以外他に方法はない	ハか?類似事業と	□ 統廃合できる 🕤 🔲		•	·	□連携できない 🕤				
	の統廃合ができるか 連携を図ることにより		地域単位や校区単位で青少年 	Fの健全育/	成を推進する組織は他	にない。					
	期待できるか?	i A III.	▼他に手段がない【理由		W45-E A 14, 1845						
	事業費の削減		■ 削減余地がある 【理日	<b>a)</b> →	▼ 削減余地がない	1【理由】	<b>→</b>				
効率			青少年支部会議と校区青少年 信運搬費や事業費に活用され			成である。爹	らくの地区民の参加を得るための通				
性	人件費(延べ) 減余地	業務時間)の削	□ 削減余地がある【理由】 🕏 🔽 削減余地がない 【理由】 🕏								
	やり方を工夫して延減できないか?成界 正職員以外の職員 いか?(アウトソーシ	見を下げずにより や委託でできな	支部会議や連絡会は、それぞれ独自で運営している。市としては、申請の処理が主な業務であり、業務時間は それほど要しないため、削減の余地はない。								
公	受益機会・費用	用負担の適正	□見直し余地がある【理	(由)	☑ 公平・公正であ	る【理由】	<b>₽</b>				
	化余地 事業の内容が一部の ていて不公平ではな 負担が公平・公正に	いか?受益者		域・校区の	青少年の非行防止や青	少年を巻	まに設置をすすめているものなの き込む犯罪を防ぎ、健全育成を図る				
3			(次年度計画と予算への反			課長記入	.欄)				
(1)	1次評価者として 目的妥当性		(2) 3 「 見直し余地あり	-	振り返り、反省点)						
	有効性 効率性 公平性	適切	▼ 見直し余地あり → 未設計	置の地域・学 ∵である。	学校に青少年支部会議	及び校区青	5少年健全育成連絡会の設置を急				
<	今後の事業の方 廃止 「休止 目的再設定 事業統廃合・連 改革改善案 >	向性(改革改善 ■ 事業の ■ 事業の 場 事業の	案)・・・複数選択可 のやり方改善(有効性改善) のやり方改善(効率性改善) のやり方改善(公平性改善)	,,,,,,	通りで特に改革改善をし	かない) (原	改革・改善による期待成果   発止・休止の場合は記入不要   コスト   ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・				
を を	<b>寸</b> う。		学校ごとに校区青少年健全育		政リるにめ、関係部者の	l劢i莪	上 成維 果 低 下				
			すべき課題(壁)とその解決 いいて、理解を得られない。 粘り		向け協議していきたい。						

事務重業証価シート

		事	務協	十段	77777	<del>K</del> IIIIII/			所 属 音	羽 教育部	1
No.	1240-130	事業	名  校	外生活指導連絡	会支援事業				所属説		課
	政策名	0 4	育み磨	<b>きあうまちづくり</b>					課長名	3 山下 修	
政策体系		0 2	青少年	の健全育成					所属G(係)	生涯学習	G
冲尔	基本事業名			の非行防止のカ	ための環境づく	(1)			電話番号	를 42-1118	
	7 65 ( ) [	会計			事業	事業名		法令	•		
-	予算科目	一般	1 0	0 6 0 1 1	52015 青少年	F育成センター	·設置	事業 根拠			
事務	事業の概要(	具体的	りなやり	方、手順、詳細	。期間限定複	数年度事業	は全	本像を記述)		事業期	間
霧島	高市校外生活指	導連絡	各会の運	営補助として補助	金を交付してい	る。		·		単年度のみ	_
				全な育成を図るた。 協議会が協力提携				市子ども会育成連絡 <sup>∙</sup> する		W <del></del>	
<del>Z</del> ,0	のより、粉面リュ	도/ロ)H:	守いルル	加成女刀加刀ルカ	50 , 1X71·1C0717	2工/口用会で	儿夫	9 0.		単年度繰返	H 17 年度~)
										期間限定複数	
1 玛	状把握の部	(DO)								( )	1 12
	務事業の目		標				1	V7111/17			
	□段(主な活動 <mark>〒度実績(20</mark> 年		/ニュた・	<del>``                                   </del>				活動指標(事	<u>務事業の活動</u> 名称	量を表す指標)	<u>単位</u>
				エス/ロ野/) ,地区別校外生活	5指導連絡会の	開催(3回)					
								ア連絡会の開催	Ĕ		回
							1	1			
		F度に	計画し	ている主な活動	)		7	1			
20年	度に同じ							ゥ			
対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 対象指標										オセ糖)	
	ト生活指導連絡				口然具脉节			対象指標(対象	名称	9 1日1示)	単位
							$\Rightarrow$	ア校外生活指導	掌連絡会の構	成員数	人
						,	イ ウ				
퐅	意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)										
	校外生活指導連絡会運営の健全化を図る。										
・校外における生活指導を充実する。											%
· <b>作</b> 文分	いにのりる生活は	百得で	九夫 9 も	0,			,	イ ウ			
幺	ま果(どんな結	果に終	きび付け	tるのか)				上位成果指標	(結果の達成)	度を表す指標)	
	年の健全育成			, _ ,					名称		単位
							1	ア 青少年が社会のルー			% %
							,	1 同少年の確主自成にとうで	ア内が坐ましい環境となっ	こいのと考える中氏の割合	90
(2) 約	総事業費·指標		単位	18年度	19年度	20年度		21年度			
<u> </u>	の推り			(実績)	(実績)	(実績)		(見込)			
	財 国庫支 都道府県	<b>立。</b> 金出支	千円				-				
	源 地方	債	千円								
事 殺 投	おいて	他	千円	100	200			615			
IΛI	「		千円	409 409	369 369	35 35		315 315			
量一	尹未貝引	(八)	IIJ	409	309	- 30		313			
<u> </u>							+				
$\vdash$		ア		5	5		5	5	+		
	活動指標 イ										
	ウ <mark>ー</mark>							40			
	ア 人     18       対象指標     イ					18	18				
	j j				$\dashv$	+					
	ア % 49 52						54	55			
	成果指標 イー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・				$\perp$						
	フ <mark>ッツ 28.1 12.3 15</mark>					.6	34.0	+			
1	上位成果指標 イ % 16.6 22.0 24.					_	24.0				
		ウ		<del>2</del> = <del>2</del>							
	務事業の環			意見等 かけけ何か?!	1つほじ/ かん	▽V=→SBB+ひ→	- to t-	<b>Ω</b> \$\ 2			

平成17年の市町村合併により霧島市として「校外生活指導連絡会」の組織を整備した。17年度は旧自治体の組織で暫定的に活動し,平成18年度より,各 種団体が霧島市に一本化されたのを受け,「霧島市校外生活指導連絡会」として発足した。

事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 市町合併に伴い、新市の校外における青少年健全育成のための組織として、情報・意見交換等に役立っている。

この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 児童生徒の商店等への出入りを明確化してほしい。

	事務事業名	校外生活指導	連絡会支援事業	所属部	教育部	所属課	生涯学習課				
2	評価の部(SEE) プロングラス アイス アイス アイス アイス アイス アイス アイス アイス アイス アイ		位、ただし複数年度事業は ■ 見直し余地がある 【理		▼ 結びついている	【理由】	<del></del>				
目	この事務事業の目的 策体系に結びつくかが結果に結びついて	がは市(町)の政 へ?意図すること	運営費を助成することで、基本	•							
的妥	公共関与の安	当性	■見直し余地がある 【理	曲】与	☑ 妥当である 【理	由】与					
	らないのか?税金を する目的か?	行わなければな 投入して、達成	青少年の健全育成は行政の役	と割であり、	補助金を支出することは	は妥当であ	3.				
Т	対象・意図の妥	<del>と</del> 当性	■ 見直し余地がある 【理	曲)之	☑ 適切である 【理	申プ					
	対象を限定・追加す限定・拡充すべきか		青少年が健全に育成されるた	めに補助す	「るものであり、対象意図	とも妥当て	<b>゙</b> ある。				
	成果の向上余	地	□ 向上余地がある 【理日	<b>1</b>	☑ 向上余地がない	【理由】	₹				
	成果を向上させる余 果の現状水準とある 異はないか?何が原 が期待できないのか	べき水準との差 因で成果向上	目的を一にする団体で構成さ	れ、青少年	の健全育成に適切な活	動をしてい	13.				
有	廃止・休止の成	<b>以果への影響</b>	□影響無 【理由】 🖜	□影響無 【理由】 🖜 🔽 影響有 【その内容】 🕤							
効性評	事務事業を廃止・休 響の有無とその内容		支出の96%が補導時の謝礼の	支出の96%が補導時の謝礼と校区活動費であり、補助がなくなれば活動の維持が困難になる。							
価	類似事業との紹 可能性	統廃合·連携の	□ 他に手段がある(具体	的な手段,	事務事業)						
	目的を達成するには以外他に方法はないとの統廃合ができる。	\か?類似事業 か?類似事業と	一 統廃合できる 5 □ □ 類似する団体はない。	連携できる	3 🕤 🔲 統廃合で	きない 🕤	■連携できない 🖜				
	が期待できるか?	5. 成末の円工	▼他に手段がない【理由	] <b></b>							
	事業費の削減		■削減余地がある【理日	<b>1</b>	▼ 削減余地がない	【理由】	<b>→</b>				
効率	成果を下げずに事美   いか?(仕様や工法  の協力など) 		支出の96%が補導時の謝礼の 収入の54%が市の補助である	と校区活動 らが、その他	費である。 2構成団体のひとつであ	る市P連も	出資している。				
性	人件費(延べ業 減余地	美務時間)の削	□ 削減余地がある 【理日	1 <b>2</b>	☑ 削減余地がない	【理由】	<b>→</b>				
	やり方を工夫して延 減できないか?成果 正職員以外の職員・ いか?(アウトソーシ	!を下げずにより や委託でできな	職員は補助金の申請受付及での余地は無い。	職員は補助金の申請受付及び交付、実績報告に係る事務が主であり、必要最低限の事務であることから肖の余地は無い。							
公 平	受益機会·費用 化余地	月負担の適正	■ 見直し余地がある 【理	(由)	☑ 公平・公正である	3【理由】	<b>→</b>				
性評	事業の内容が一部の ていて不公平ではな 負担が公平・公正に	いか?受益者	「青少年健全育成」は、全市民	その願いです	<b>5</b>						
3	評価結果の総括と			映)(PLAN	-,	<b>果長記入</b>	(m)				
(1,	) 1次評価者として( 目的妥当性 有効性 効率性 公平性	が	□ 見直し余地あり 📥	-	辰り返り、反省点) をとおして、会員間での愉	青報交換、	共有がなされ、適正に活動してい				
<	) 今後の事業の方[ 「廃止 「休止 「日的再設定 「事業統廃合・連接 改革改善案 >	向性(改革改善 □ 事業の □ 事業の 男業の	案)・・・複数選択可 のやり方改善(有効性改善) のやり方改善(効率性改善) のやり方改善(公平性改善)	(従来	伏維持 通りで特に改革改善をし	(房	改革・改善による期待成果     発止・休止の場合は記入不要     コスト     削減   維持   増加     向				
(5)	)以甲、以普を美坊	19る上で解決?	すべき課題(壁)とその解決:	<b>宋</b>							

			平成	20	年度	事務事業	業評価シ	<b>-</b>					
N	0.	1240-140	事	務書	少年育成センタ・	_ 调台事業				所属		教育部	
IN	U.	1240-140	事業	名	ン午自成セング	<b>建</b> 吕尹未				所属	禹 課	生涯学習	課
7.	,,,,,	政策名	0 4	育み磨	<b>きあうまちづくり</b>					課	€ 名	山下 修	
以	策系	施策名	0 2	青少年	の健全育成					所属(	(係)	生涯学習	グループ
144	尔	基本事業名	0 2	青少年	の非行防止のカ	こめの環境づ	( I)			電話	番号	42-1111	
			会計	款	項 目	事業	事業名		法令烘				
	子	·算科目	一般	1 0	0 6 0 1 1	53025 青线	少年健全育	<b>戎事</b> 〕	業 根拠 特に	なし			
_	マカ 급	1世の版画 /		<del>(1 +                                   </del>		#08879 🗁 始	<b>数左皮害</b> 类	140		1		事业中	88
					方、手順、詳細。 頭指導活動や青					書小年を取		事業期 <sup>실年度のみ</sup>	间
					I頭拍導/A動で育! 妾的な活動があり,							早午及いか	
_					■人地区3名,8名			,0,00	. (ССЕДП)СС			4年度場:6	
	補導				区有識者20名,言	†84名					V =	单年度繰返 L. /	H 17 年度~)
											□ #	➡ 、 月間限定複数	
												年度	
1	頭	状把握の部	(DO)									<b>⊤</b> 1X	+1 <b>x</b> )
		務事業の目		標									
		段(主な活動							活動指標	(事務事業の	活動量	を表す指標)	
		度実績(20年								名称			単位
					尊委員 , 育成セン・	ター指導員が月	に2~3回,		ア定期補導	同数			回
		コースを巡回打 指道 ~ 育成セ			が地区内を巡回				> \C%1\m\++1	H ×^			Н
					こよる相談活動			$\boldsymbol{\vdash}$					
	м/т	帝計画 (04/	<del>-</del>	÷Land I	ナリスナ かごチャ	<b>\</b>			イ 巡回指導	凹釵			回
		·及計画(27) 頭補導活動,			<mark>ている主な活動</mark> <sup>談活動</sup>	)		•					
Æ	別注.	」與ొ特力對,	, 2011	日等,作品	火/白里//				ウ 相談回数				回
	<del>}</del> +	会/÷4 /寸七:	<del>}                                     </del>	-1 711	マのか)ナーサロ	与好次语位			ナナタナビナ西	(144 A 1 + 1	L + + +	+K+#.	
害	火 少年		刈氷に	-0 (61	るのか) *人や[	日然貝까守			X划刻付付示	<mark>(対象の大きる</mark> 名称	さを衣り	拍信)	単位
			こ悪影響	響を及ぼ	す可能性のある剤	<b>弱品を陳列して</b> に	る店舗	$\Rightarrow$	ア青少年数	Hillian			人
イ悪影響店舗数											軒		
j													
					象をどう変えるの				成果指標	(対象におけ	る意図	の達成度を表	
街	頭補	導による青少	年の初	]発型非	行の防止や環境流	争化		, k	- 4524 771	名称	<b>+</b> √ ₩L		単位
								$\Rightarrow$	ア指導を受け	プルス 大阪牛	首数		人
								,	イ   ウ				
	姓.	果(どんな結	里に知	≐7ぶイオナイー	tるのか)					旨標(結果の	達成度	を表す指標)	
社		ルールを身に			, 0 0 13 )				工匠心心八八	名称	~ 17,015	C-10 / Jan.	単位
非	行を	させない環境	をつく	<b>ర</b>				$\rightarrow$	ア青少年が社会		ていると考	える市民の割合	%
								4	•	とって市内が望ましい理	境となってい	ると考える市民の割合	%
(0)	///	# # 1513	# <i>/-/-</i>		40左座	40年度	00年度		ウ				
(2)	総	事業費・指標の状		単位	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (実績)		21年度 (見込)				
		<u>の指</u> 田庫支		千円	(天領)	(天順)	(天網)	+	(兄匹)				
	_	W +5344		千円									
	事業費	地方 地方	債	千円									
拉	耒	との その	他	千円			_						
λ	具	リスペ		千円	7,089	8,418	6,78		7,352				
入量	Ш	事業費計	(A)	千円	7,089	8,418	6,78	35	7,352				
								$ \vdash$			_		
								$\dashv$	-		$\dashv$		
	Н							$\dashv$			_		
	-		ア	回	75	63	29	95	250				
	;	活動指標	1		56	80	13		130				
			ウ	回	119	201		74	150				
		<del>/</del> 14/4 + ⊬ + ≖	ア	人	17,134	16,903	18,44		16,695				
1	3	対象指標	<u>イ</u>	軒	133	133	11	11	111				
$\vdash$			<u>ウ</u> ア	,	213	150	15	57	120		-		
1		成果指標	7	人	213	130	10	,,	120		_		
	,	一人/し」口 「小	<u>†</u>										
			ア	%	28.1	12.3	15	.6	34.0				
	上	位成果指標	1	%	16.6	22.0	24		24.0				
L		=== \\" ==	ウ							-		-	
(3)		務事業の環			意見等 かけけ何か?!	1つほじ/ 4/	<i>▽ // ៎===</i> ; □□ + /: →	- 40 ±	<b>0</b> th 2				
	. (		~ F= 71	1 1	1 ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( (	1 ICH 2 6.T.	~ ~ ~ / ~ [ ] 7 4 7	I T-	111711 /				

特になし

事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?

	事務事業名  青少年	が成センター運営事業	所属部	教育部	所属課	生涯学習課
2	評価の部(SEE) * 原則は 政策体系との整合性	■後評価、ただし複数年度事業に ■ 見直し余地がある 【理		▼ 結びついている	【理由】	<u> </u>
	この事務事業の目的は市(町 策体系に結びつくか?意図す が結果に結びついているか?		•			•
的妥	公共関与の妥当性	■見直し余地がある【理	曲】	▼ 妥当である 【理	曲)之	
性評	する目的か?	ればな 達成 街頭補導や巡回指導,相談?	舌動等 , 行政	<b>汝対応の事業と考えられ</b>	る。	
価	対象・意図の妥当性	□見直し余地がある【理	理由】 🧈	☑ 適切である 【理	曲了	
	対象を限定・追加すべきか? 限定・拡充すべきか?	教育的な配慮から考慮9 れん		見行で適切である。		
	成果の向上余地	▼ 向上余地がある 【理[	事」	□ 向上余地がない	【理由】「	
	成果を向上させる余地はある。 果の現状水準とあるべき水準 異はないか?何が原因で成果 が期待できないのか?	の差の産業の年を対象とした	民間事業者	に積極的に協力してもら	らうことで成	果向上の余地があると考えられる。
有	廃止・休止の成果への	「影響無【理由】 →		▼ 影響有 【その内	容] 🦜	
効性評価	事務事業を廃止・休止した場は響の有無とその内容は?	音の影 青少年の健全育成に携わるも そのため、情報の収集、関係				直接関わる部署が存在しなくなる。
	│ 類似事業との統廃合・迫 可能性	□携の □ 他に手段がある(具体	的な手段	事務事業)		
	目的を達成するには、この事別以外他に方法はないか?類似との統廃合ができるか?類似!	-   事業		る 🕤 🗌 統廃合で	きない 🕤	□連携できない
	の連携を図ることにより、成果(が期待できるか?	向上				
	事業費の削減余地	<ul><li>✓ 他に手段がない【理由</li><li>厂削減余地がある【理]</li></ul>		▼ 削減余地がない	【理由】	<u>5</u>
効率	成果を下げずに事業費を削減 いか?(仕様や工法の適正化	-	•		(*±m/	•
性	人件費(延べ業務時間	の削   削減余地がある [理]	山 🎝	☑ 削減余地がない	【理由】	<b>₽</b>
	減余地 やり方を工夫して延べ業務時 減できないか?成果を下げず 正職員以外の職員や委託です いか?(アウトソーシングなど)	こより 正職員以外の職員に委託して	ており, 現在	より削減余地はない。		
公	受益機会・費用負担の	適正 □見直し余地がある【理	曲プ	☑ 公平・公正である	3 【理由】	<b>₹</b>
公平供	化余地					
評	事業の内容が一部の受益者にていて不公平ではないか?受負担が公平・公正になっている	益者	業であり, 公	平・公正である。		
	評価結果の総括と今後の2 1次評価者としての評価結	う向性(次年度計画と予算への反 型 (2)		N) 担当 振り返り、反省点)	果長記入	<b>[1]</b>
(')	目的妥当性 🔽 適			派9257、人口杰)		
	有効性 □ 適 効率性 <b>▽</b> 適			・周知を図り,年々相談事 に寄与していると考えら		加の傾向にある。また,青少年の健
	公平性	, DE 0 % - 100 )	32,100,000			
٠,	今後の事業の方向性(改革  □ 廃止   □休止   ▼	込善案)・・・複数選択可 事業のやり方改善(有効性改善)	Πщ	状維持		改革・改善による期待成果    発止・休止の場合は記入不要)
	目的再設定	事業のやり方改善(効率性改善)		が編り 通りで特に改革改善をし		`•. コスト
< i	□ 事業統廃合·連携 □ 改革改善案 > □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	事業のやり方改善(公平性改善)				・・・・・  削減   維持   増加
関化	係の民間企業等にセンターの氵	動を周知させる。				上 成維 果持 低 下
		解決すべき課題(壁)とその解決	策			
·指	í導員,相談員の資質の向上。					